



ユーザーズマニュアル

目次

1 はじめに	3
1-1 動作要件	3
1-2 ライセンスについて	3
2 インストールの手順	4
2-1 インストーラの起動	4
3 初回設定	6
3-1 初回設定ウィザードの起動	6
3-2 ライセンスキーの入力	6
3-3 起動モードの選択	8
3-4 かんたんモード初回設定の手順	9
3-4-1 バックアップ先の選択	9
3-4-2 バックアップ元の設定	10
3-4-3 かんたんモードの初回設定の確認	11
3-5 標準モード初回設定の手順	12
3-5-1 バックアップ先の選択	12
3-5-2 バックアップ先の設定	13
3-5-3 バックアップ元の設定	14
3-5-4 セキュリティパスワードの設定	15
3-5-5 圧縮/暗号化設定	15
3-5-6 その他の設定	16
3-5-7 標準モードの初回設定の確認	17
4 かんたんモードの機能／各種設定・変更	18
4-1 かんたんモード・ホーム画面の機能	18
4-2 バックアップ設定	19
4-3 リストア（バックアップデータの復旧）	20
4-4 サポート	22
4-4-1 ライセンスキー入力	22
4-4-2 お客様情報登録	22
4-4-3 サポートデータ作成	23
4-4-4 お問い合わせ	25
4-4-5 マニュアル	25
4-4-6 メニューに戻る	25
4-5 標準モードに切り替える	26
5 標準モードの機能／各種設定・変更	26
5-1 標準モード・ホーム画面の機能	26
5-2 バックアップ	27
5-2-1 バックアップ元設定	27
5-2-2 バックアップ先設定	33
5-3 リストアと削除	37
5-4 オプション	40
5-4-1 共通設定	40

5-4-2 セキュリティ設定	42
5-4-3 パフォーマンス設定	43
5-5 ステータス&ログ.....	45
5-5-1 バックアップログ	45
5-5-2 リストアログ.....	46
5-5-3 オペレーションログ.....	47
5-6 サポート.....	48
5-6-1 ライセンスキー入力.....	48
5-6-2 お客様情報登録.....	49
5-6-3 サポートデータ作成.....	50
5-6-4 お問い合わせ.....	52
5-6-5 マニュアル.....	52
5-7 かんたんモードへ.....	53
6 Air Back アイコンと表示されるメッセージについて	53
6-1 コンテキストメニューを開く.....	53
6-2 Air Back アイコンの表示と動作状況	55
6-3 バックアップ先に接続できない時の表示	56
6-4 バックアップ先メディアが変更された場合の表示.....	56
7 Air Back Restore について	57
7-1 Air Back Restore の概要.....	57
7-2 Air Back Restore の起動方法	57
8 付録.....	59
8-1 インストーラをダウンロードする	59
8-2 無料評価版試用期間終了のお知らせ.....	59
8-3 アップデートについて	60
8-4 アンインストールの方法.....	60
9 FAQ.....	62

1 はじめに

この度は、Air Back® for PC（エアバック フォー पीシー）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

Air Back® for PC はパソコンに保存されたファイルをバックアップし、故障や誤操作によるファイル消失時にファイルを復旧できるバックアップソフトです。

リアルタイムバックアップを行うことで、新規作成や更新が行われたばかりのファイルを消失してしまっても復旧することができます。さらに最大 99 世代まで世代設定が可能ですので、更新前の過去のファイルも復旧できます。また、バックアップ先には内蔵/外付の HDD や USB メモリ、SD カード、NAS などを使用可能です。

本書では導入方法から設定方法、操作方法、注意点などをご説明いたします。

※ 本書に関する著作権は、株式会社アール・アイに帰属します。本書に掲載されているすべての画像は開発中のものです。

※ Air Back はアール・アイの商標です。

※ Microsoft、Windows、Windows Server、SQL Server、Microsoft Office、Internet Explorer は米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の登録商標、または商標です。Intel、Intel vPro は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。AMD は、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。Mac OS は、米国 Apple Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Android は Google Inc. の商標または登録商標です。その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

1-1 動作要件

以下の最低システム要件を満たす コンピュータ をご用意ください。

オペレーティングシステム（32 ビット/64 ビット、日本語版のみ）

Windows XP Home/Pro（SP1 以降を含む）

Windows Vista 各エディション（SP1 以降を含む）

Windows 7 各エディション（SP1 以降を含む）

Windows 8 各エディション

CPU Intel、AMD または互換プロセッサ

メモリ 512MB 以上の RAM

※ お使いの OS やソフトウェアによって必要なメモリは異なります。

ハードディスクの空き容量 35MB 以上の空き容量

その他 .NET Framework 2.0 以上がインストールされていること

※ 動作要件は予告なく変更される場合がございます。

1-2 ライセンスについて

ライセンスキーを入力してアクティベーション（認証）を行うと無料評価期間 30 日を超えてご利用できます。ライセンスキー未入力またはアクティベーションを行わないと、インストール日から 30 日経過するとご利用できなくなります。

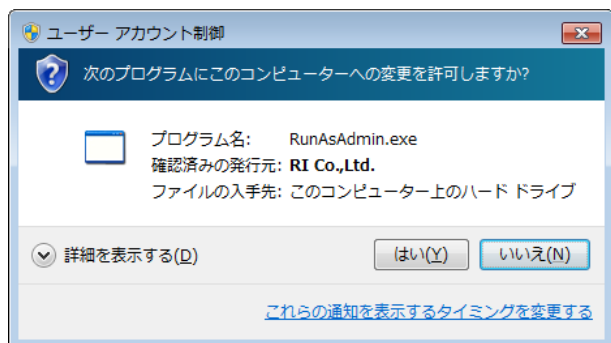
2 インストールの手順

2-1 インストーラの起動

製品 CD-ROM を PC のメディアドライブにセットするとインストールプログラムが自動的に起動します。

自動的に起動しない場合はメディアを直接開き AirBackInstaller.exe を実行してください。

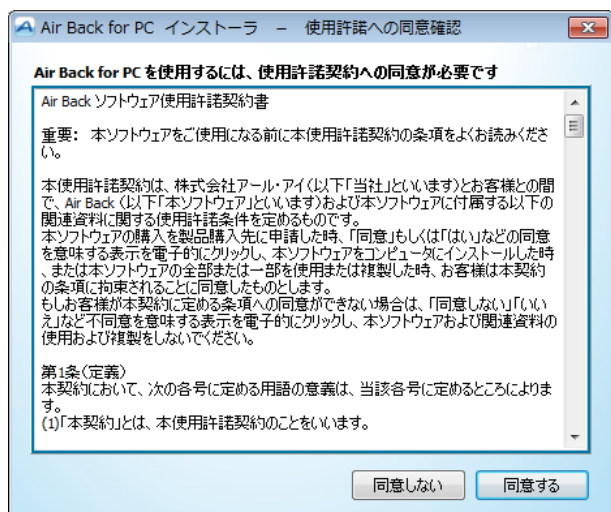
または、ホームページよりダウンロードした AirBackPC.exe を展開し、AirBackInstaller.exe を実行してください。



Windows Vista 以降では「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されますので[はい]または[続行]をクリックしてください。

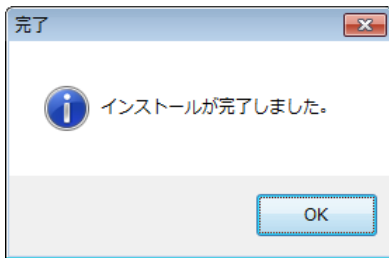


[インストール]をクリックします。

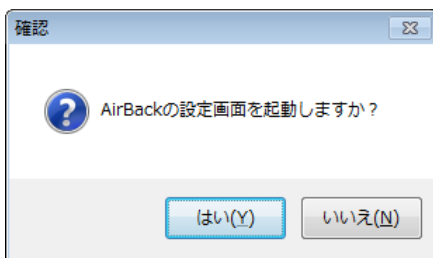


使用許諾契約書をお読みください。[同意する]をクリックするとインストールが実行されます。

※ [同意しない]場合はインストールを中断します。



インストールが完了すると表示されるので、[OK]をクリックします。



[はい]をクリックすると設定画面が起動します。

以上でインストールは完了しました。

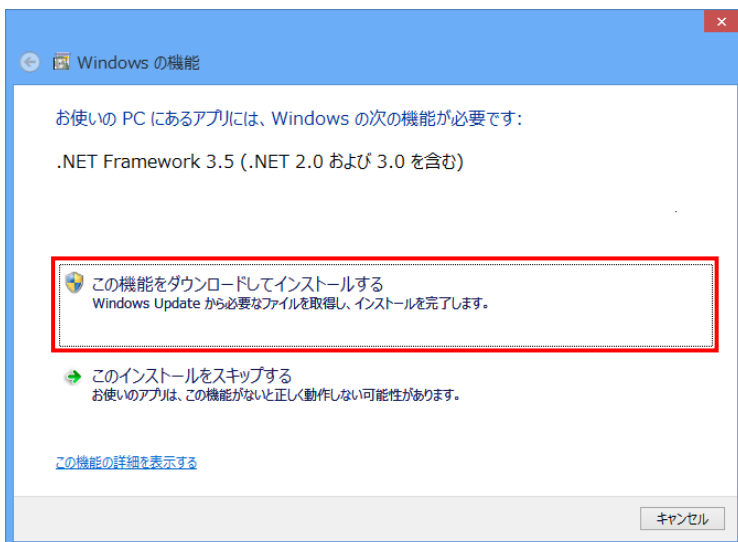
※ Air Back はスタートアップに登録されますので PC 起動後自動で起動します。

<Windows8 にインストールする場合>

Air Back をインストール中に下記が表示される場合は、画面に従ってインストールを行ってください。

※ .NET Framework2.0 がインストールされていない場合に表示されます。

※ インターネットに接続されている状態で行ってください。



3 初回設定

3-1 初回設定ウィザードの起動

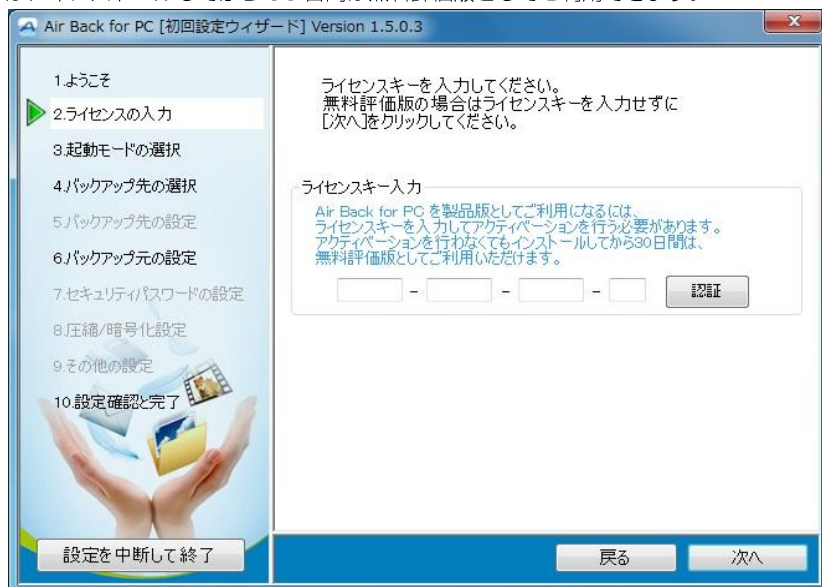
インストールが完了すると初回設定ウィザードが起動します。ここではバックアップを行うために必要な情報を設定します。



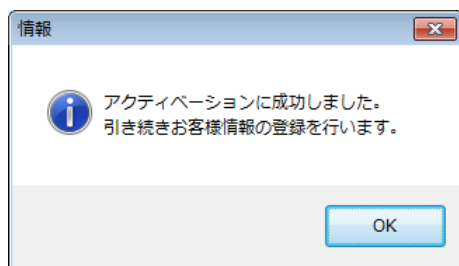
[次へ]をクリックします。

3-2 ライセンスキーの入力

ライセンスキーを入力して[認証]をクリックします。アクティベーションを行わない場合やライセンスキー未入力の状態でも次へ進む場合は、インストールしてから30日間は無料評価版としてご利用できます。



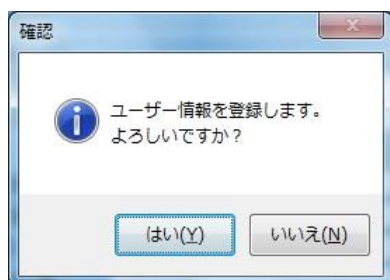
※ Windows Vista 以降では「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されますので[はい]または[続行]をクリックしてください。



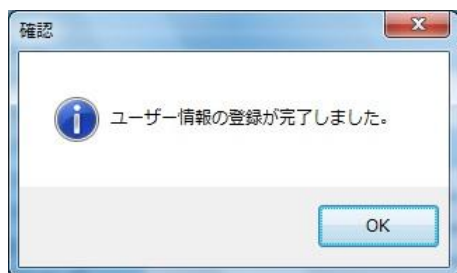
[OK]をクリックします。

続いて、お客様情報登録フォームが表示されます。

お客様情報を入力し、[ユーザ登録]をクリックします。

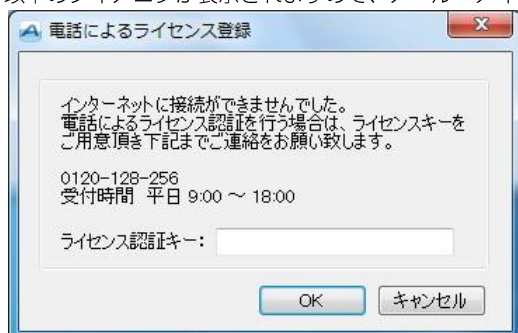


[はい]をクリックします。



<インターネットに接続されていない場合>

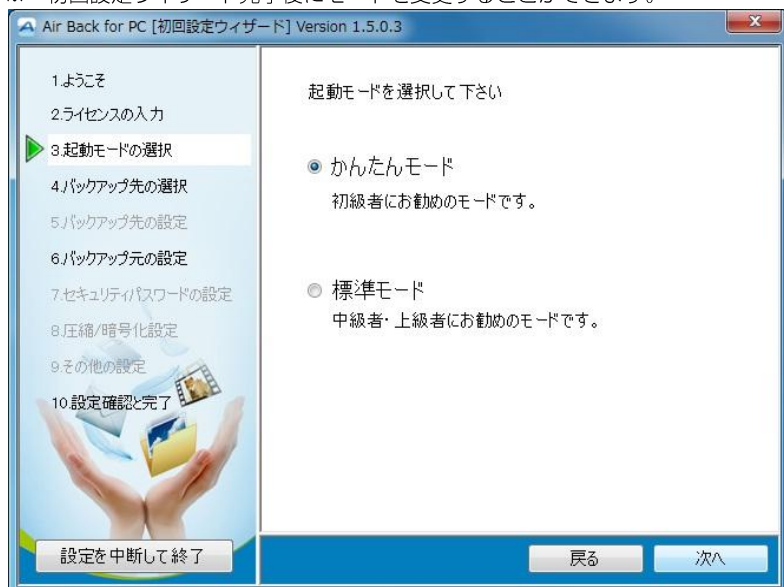
以下のダイアログが表示されますので、アール・アイ電話サポートまでライセンス認証キーをお問い合わせいただき入力してください。



3-3 起動モードの選択

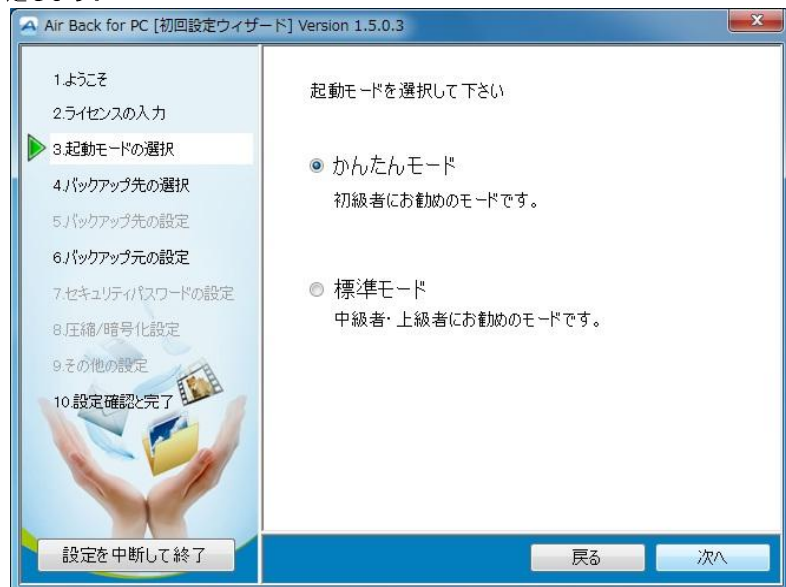
最小限の設定のみを行う「かんたんモード」と、より細かく設定を行う「標準モード」を用意しています。

※ 初回設定ウィザード完了後にモードを変更することができます。



3-4 かんたんモード初回設定の手順

かんたんモードの初回設定ウィザードでは、バックアップしたいデータのバックアップ元と、そのデータを保存するバックアップ先を設定します。

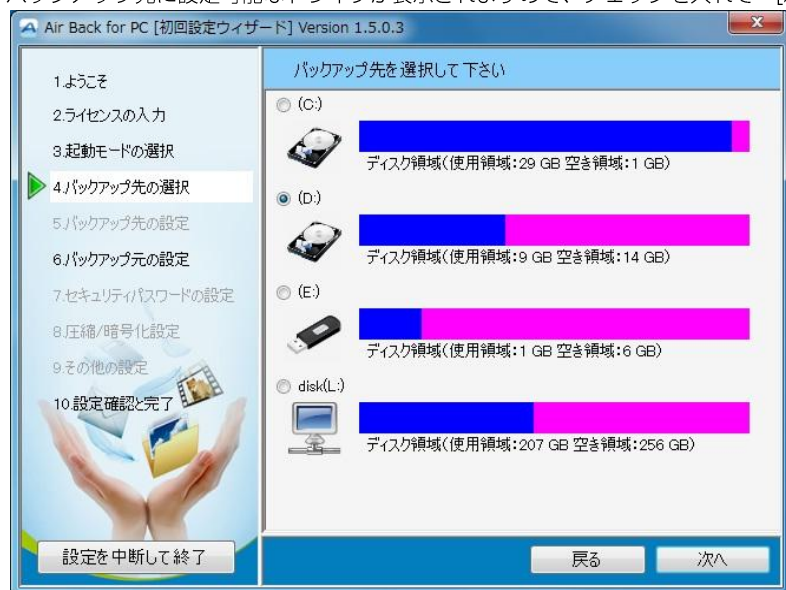


[かんたんモード]にチェックを入れて[次へ]をクリックします。

※ [標準モード]を選択した場合は、3-5 標準モード初回設定手順 をご参照ください。

3-4-1 バックアップ先の選択

バックアップ先に設定可能なドライブが表示されますので、チェックを入れて [次へ]をクリックします。



※ ネットワークドライブは事前に割り当ててること一覧に表示されます。

※ CD/DVD 等の光学メディアやテープメディアなどはバックアップ先として指定できません。

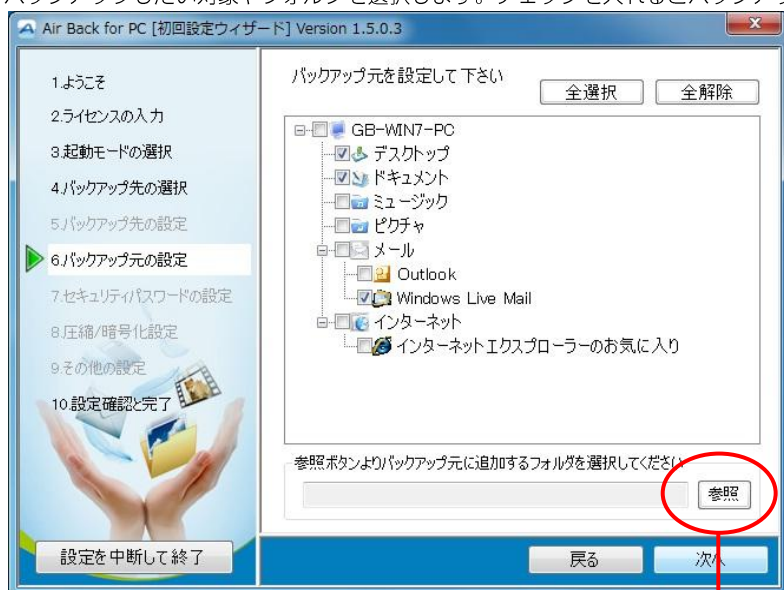
<注意メッセージが表示される場合>



以前バックアップしたデータが存在した場合に表示されます。以前のデータは削除されますのでご注意ください。

3-4-2 バックアップ元の設定

バックアップしたい対象やフォルダを選択します。チェックを入れるとバックアップ元として設定されます。



[参照]をクリックして任意のフォルダを選択できます。

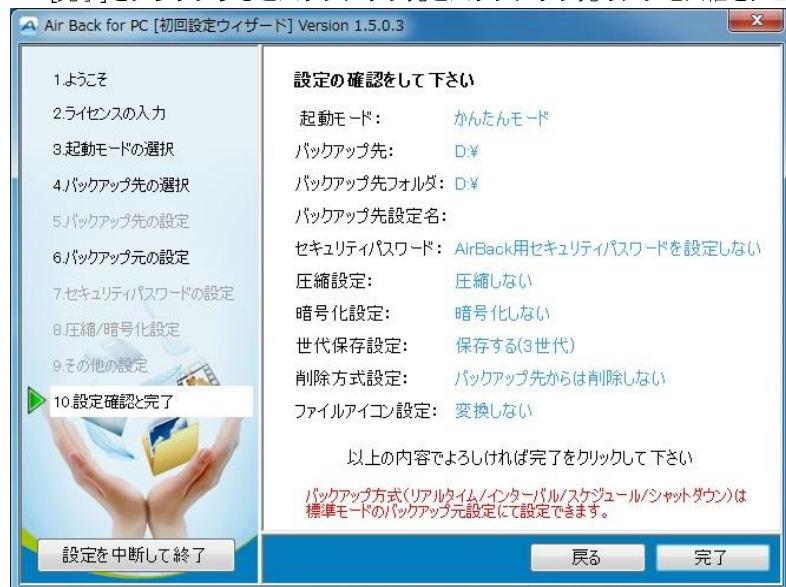


バックアップしたいフォルダを選択して[OK]をクリックします。

3-4-3 かんたんモードの初回設定の確認

設定を確認し、[完了]をクリックしてください。

※ [完了]をクリックするとバックアップ元とバックアップ先のアクセス権をチェックします。問題がある場合は再設定を促します。

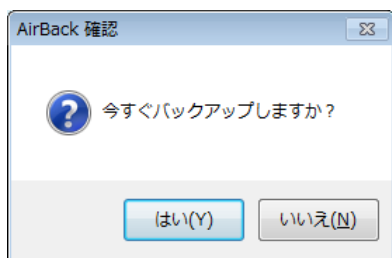
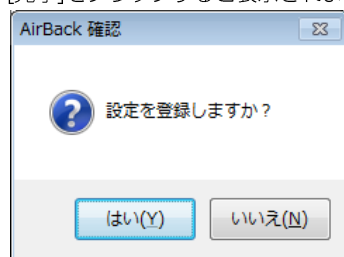


<かんたんモードで自動的に設定されるオプション機能>

設定	値
セキュリティパスワード	設定しない
圧縮設定	圧縮しない
暗号化設定	暗号化しない
世代保存設定	保存する (3 世代)
削除方式設定	バックアップ先から削除しない
ファイルアイコン設定	変更しない
バックアップ方式	バックアップ元が「メール」と「インターネット」はインターバル方式で、 その他はすべてリアルタイム方式となります

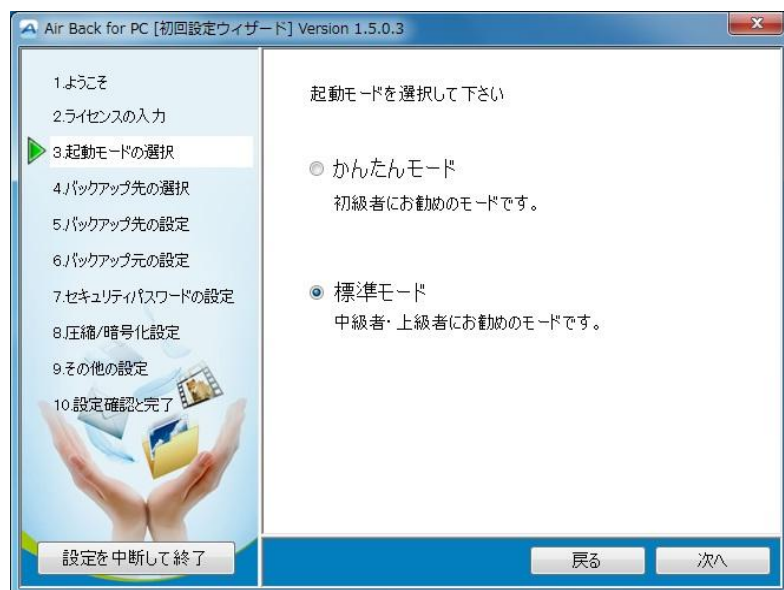
オプション機能の各設定値を変更する場合は[戻る]をクリックして、3-3 起動モードの選択 画面に戻り、[標準モード]を選択してください。

[完了]をクリックすると表示されます。



3-5 標準モード初回設定の手順

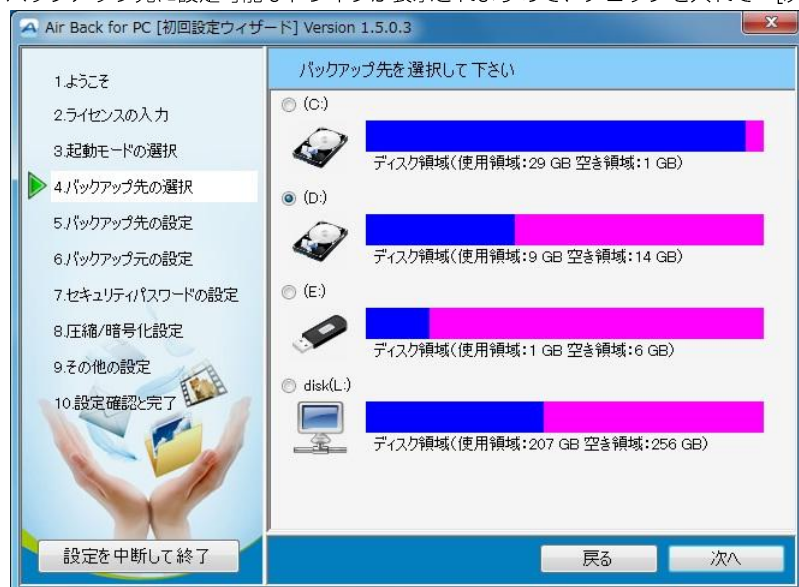
標準モードの初回設定ウィザードは、かんたんモード時は自動で設定される項目を手動で設定することができます。



[標準モード]にチェックを入れて[次へ]をクリックします。

3-5-1 バックアップ先の選択

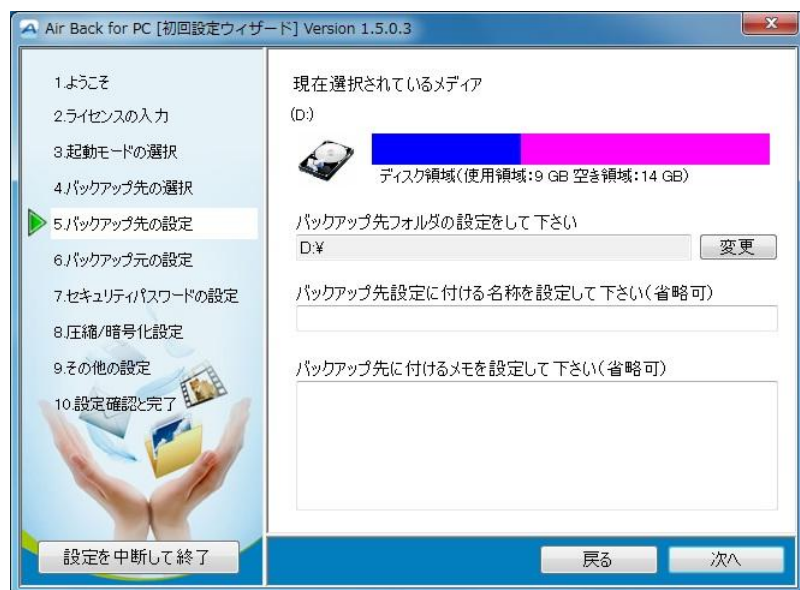
バックアップ先に設定可能なドライブが表示されますので、チェックを入れて [次へ]をクリックします。



※ ネットワークドライブは事前に割り当ててること一覧に表示されます。

※ CD/DVD 等の光学メディアやテープメディアなどはバックアップ先として指定できません。

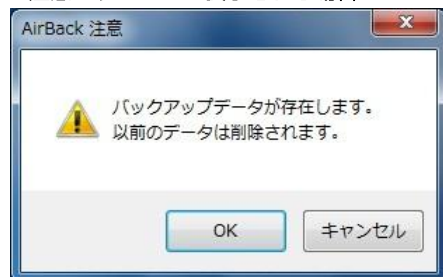
3-5-2 バックアップ先の設定



[変更]をクリックして任意のフォルダをバックアップ先に指定することや、バックアップ先の名称とメモを設定することができます。指定した場所には「R」フォルダが作成され、その中にバックアップデータが転送されます。

例：D ドライブの中の「Backup」フォルダを指定して、デスクトップをバックアップする場合
D:\Backup\R\ユーザー名\DT\00

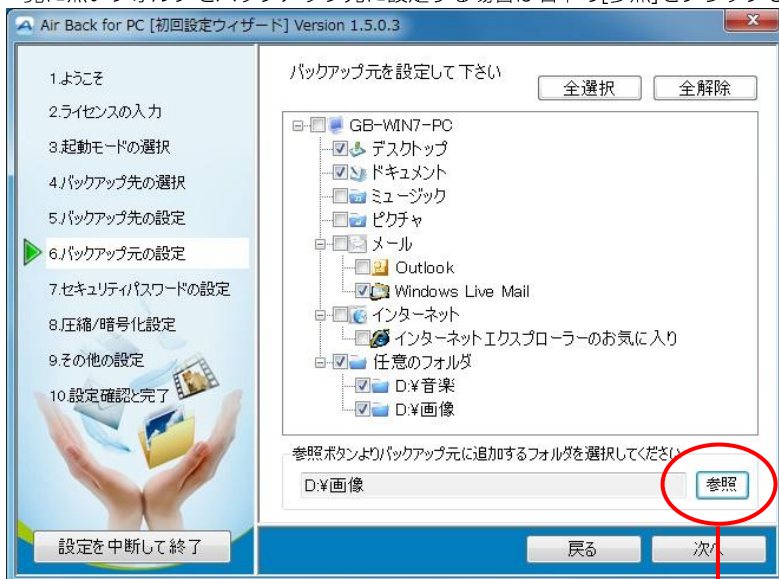
<注意メッセージが表示される場合>



以前バックアップしたデータが存在した場合に表示されます。以前のデータは削除されますのでご注意ください。

3-5-3 バックアップ元の設定

バックアップしたい対象やフォルダを選択します。チェックを入れるとバックアップ元として設定されます。
一覧に無いフォルダをバックアップ元に設定する場合は右下の[参照]をクリックして任意のフォルダを選択してください。

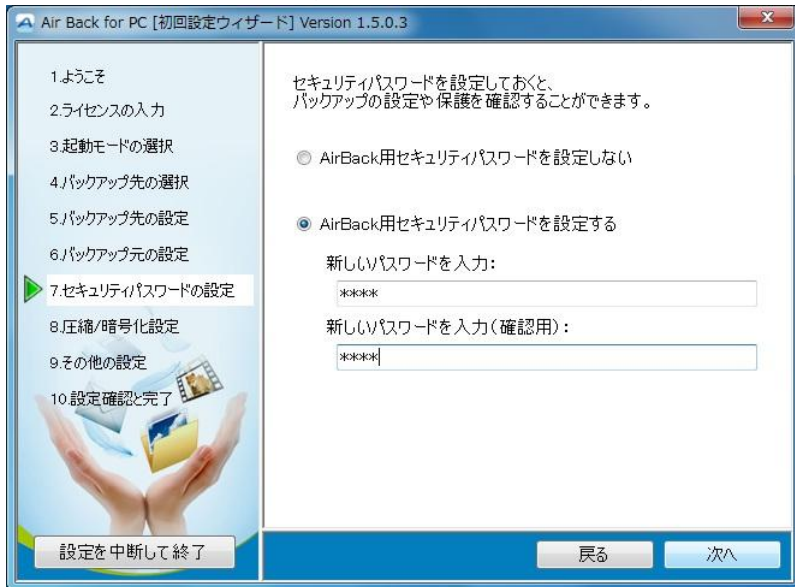


バックアップしたいフォルダを選択して[OK]をクリックします。

3-5-4 セキュリティパスワードの設定

セキュリティパスワードを設定するかどうかを選択します。設定する場合は任意の文字列を半角英数字で入力してください。

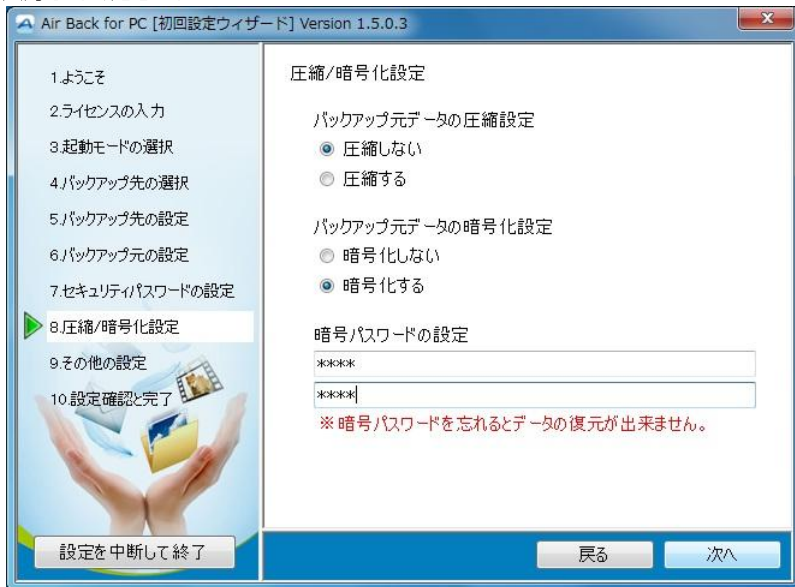
※ 半角英数字で 1～32 文字（英数字・記号・英大小文字は区別）



セキュリティパスワードは、5-3 リストアと削除 <元のファイル名を表示する> を行う場合や、データを暗号化する設定にした場合のパスワードを閲覧する際に必要です。

3-5-5 圧縮/暗号化設定

バックアップデータを圧縮するか、暗号化するかを選択します。暗号化する、を選択した場合はパスワードを半角英数字 1～16 文字で入力してください。



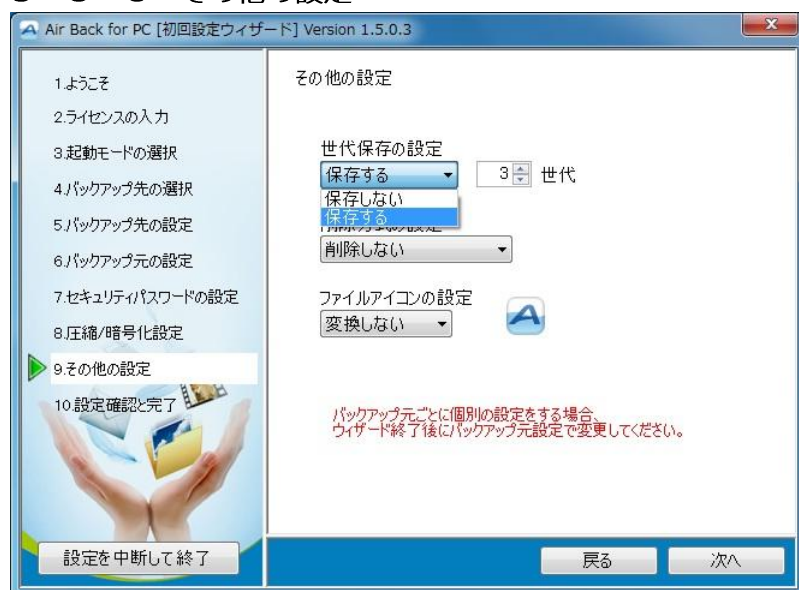
<圧縮設定>

「圧縮する」に設定するとバックアップ元に設定したファイルが圧縮されてバックアップ先に保存されます。圧縮率は zip と同じです。

<暗号化設定>

「暗号化する」に設定するとバックアップ元に設定したファイルが暗号化されてバックアップ先に保存されます。リストアする際に設定したパスワードの入力が必要です。

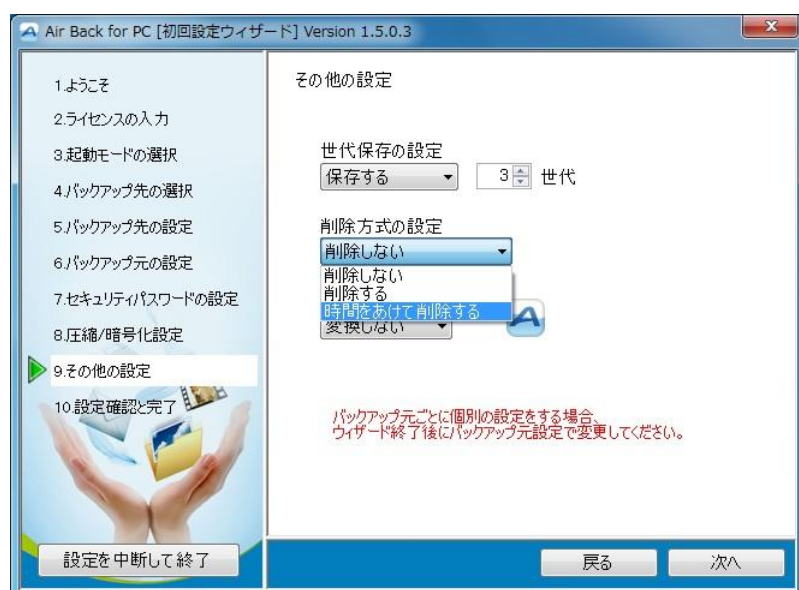
3-5-6 その他の設定



<世代保存の設定>

上書きによるバックアップ時に古いファイルを世代として保存するかどうかの設定です。1～99 世代の範囲で世代を保存できます。世代を保存しておくと、誤って上書きした時や削除してしまった際に世代ファイルからの復旧が可能になります。

「保存する」を選択した場合は保存する世代数を指定してください。



<削除方式の設定>

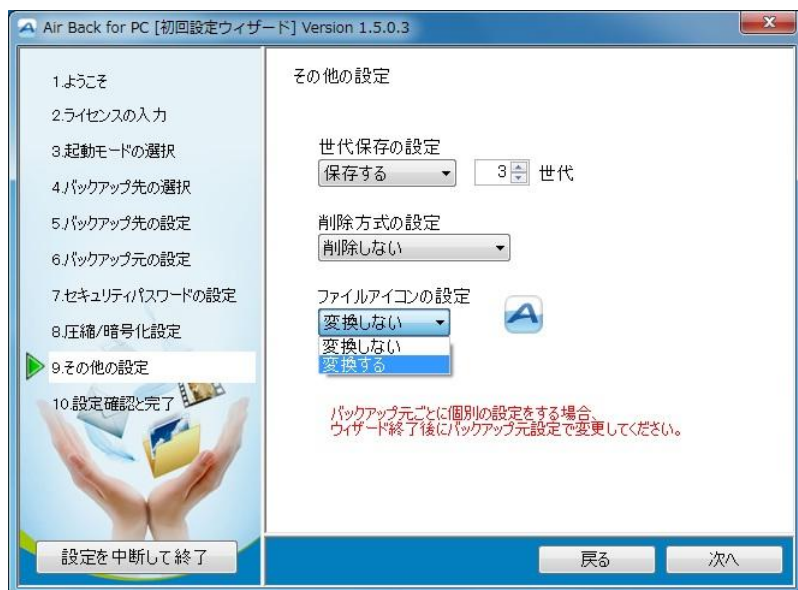
バックアップ元から削除されたファイルをバックアップ先からも削除することができます。

「時間をあけて削除する」を設定した場合はリアルタイム方式でもバックアップ元から削除されたファイルがバックアップ先からすぐに削除されることはありません。

※ バックアップ方式によってバックアップ先にあるバックアップファイルを削除するタイミングが異なります。

削除方式	バックアップ方式が「リアルタイム」の場合	バックアップ方式が「スケジュール」・「インターバル」・「シャットダウン」の場合
バックアップ先から削除する	バックアップ元ファイルを削除すると直ちにバックアップ先から削除する	次回スケジュール（またはインターバル、シャットダウン）実行時にバックアップ先から削除する
時間をあけて削除する	オートコンプリータが実行されるタイミングでバックアップ先から削除する	

- ※ オートコンプリータとは、バックアップ方式をリアルタイムに設定しているバックアップ元に対して動作する機能です。
Air Back が起動してから 5 分後にバックアップ元のスキャンを開始しバックアップ先と同期します。



<ファイルアイコンの設定>

バックアップ先に保存されたファイルのアイコンを本来とは別のアイコンに変換するかどうかの設定です。

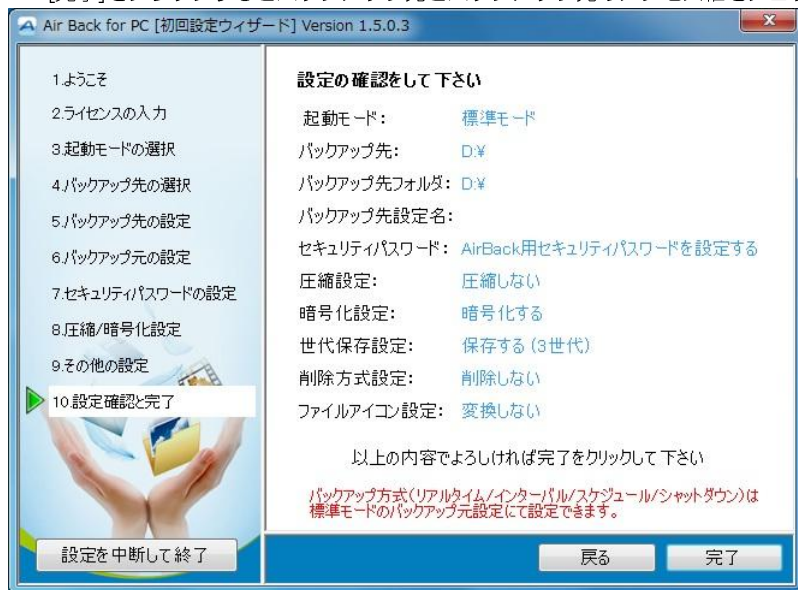
「変換する」を選択するとバックアップと同時にバックアップ先のファイルアイコンはここで表示されている Air Back のオリジナルアイコンで表示されるようになります。

初回設定ウィザードで指定できるアイコンは Air Back オリジナルアイコンのみですが、初回設定完了後は PC にインストールされているアプリケーションソフトが使用するアイコンに変更することができます。

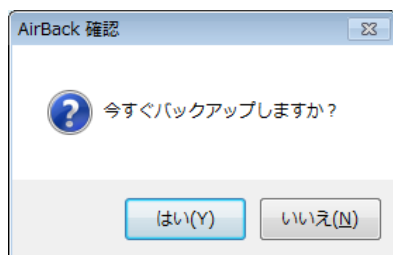
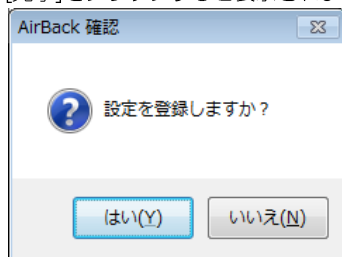
3-5-7 標準モードの初回設定の確認

設定を確認し、[完了]をクリックしてください。

- ※ [完了]をクリックするとバックアップ元とバックアップ先のアクセス権をチェックします。問題がある場合は再設定を促します。



[完了]をクリックすると表示されます。



4 かんたんモードの機能／各種設定・変更

4-1 かんたんモード・ホーム画面の機能

ホーム画面から各機能の設定画面に1クリックでアクセスできます。



バックアップ：バックアップ先ごとにバックアップ元の設定を行います。

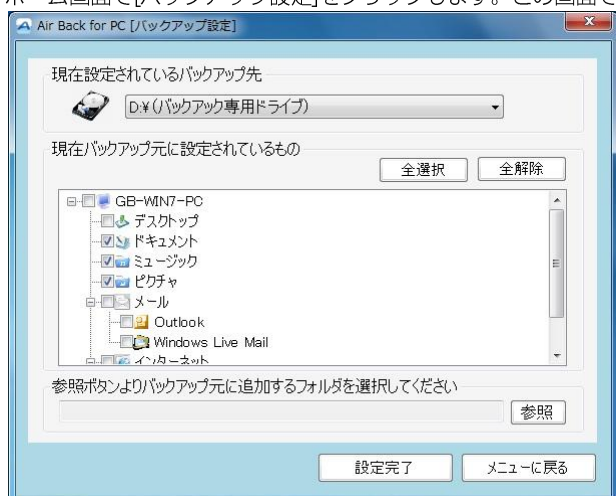
リストア（バックアップデータの復旧）：データのリストアを行います。

サポート：ライセンス登録情報、お客様情報登録、サポートデータ作成、お問い合わせ、マニュアルの表示が可能です。

標準モードに切り替える：起動モードを標準モードに切り替えます。

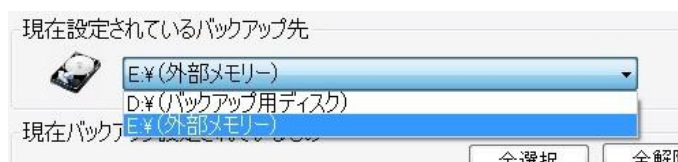
4-2 バックアップ設定

ホーム画面で[バックアップ設定]をクリックします。この画面ではバックアップ元のフォルダを設定します。



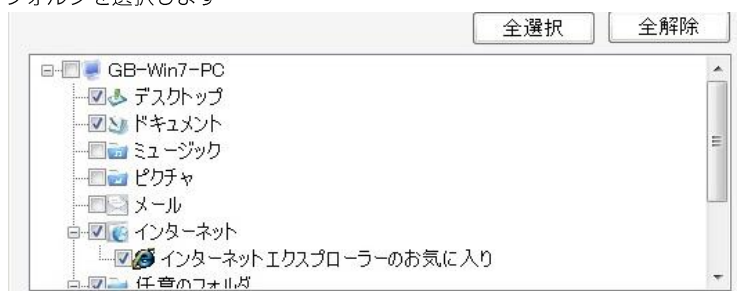
バックアップ先ごとにバックアップ元の設定を行います。

バックアップ先を選択します



プルダウンメニューから選択してください。

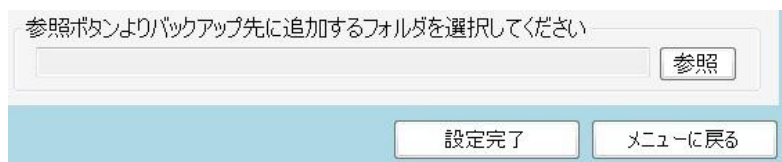
フォルダを選択します



フォルダ名の左側チェックボックスにチェックを入れてください。

[全選択]：表示されているフォルダをすべて選択します。

[全解除]：全フォルダの選択を解除します。



[参照]をクリックして任意のフォルダを選択します。

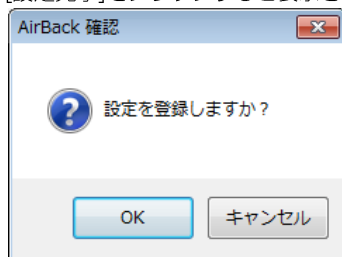
<バックアップ設定での注意点>

複数のバックアップ先に対して同じバックアップ元は選択しないでください。

バックアップ先が複数の場合は全てのバックアップ先に対してバックアップ元フォルダを選択してください。

「C:\」 「C:\Windows」 「C:\Program Files」 をバックアップ元にすることはできません。

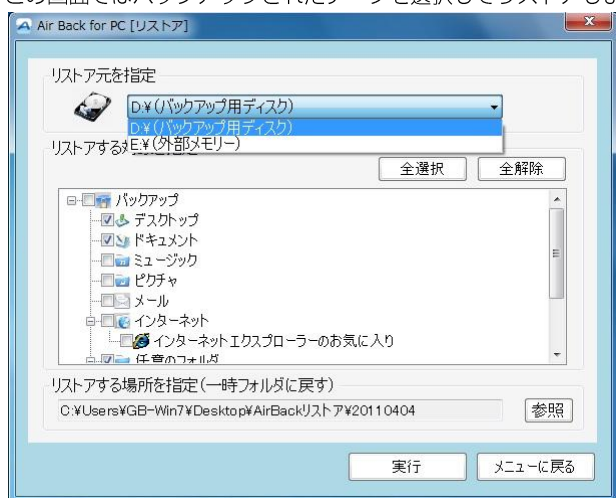
[設定完了]をクリックすると表示されます。



4-3 リストア（バックアップデータの復旧）

ホーム画面で[リストア（バックアップデータの復旧）]をクリックします。

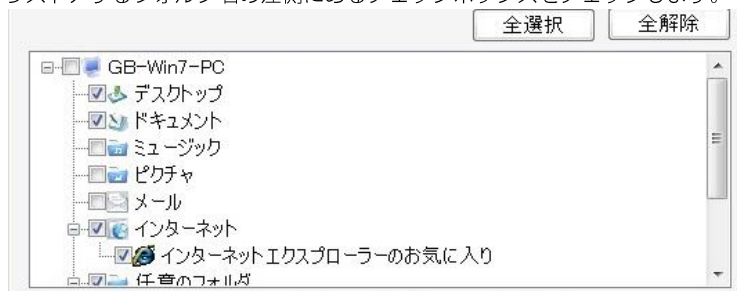
この画面ではバックアップされたデータを選択してリストアします。



リストアしたいデータがあるバックアップ先をプルダウンメニューから選択します。



リストアするフォルダ名の左側にあるチェックボックスをチェックします。



[全選択]：表示されているフォルダをすべて選択します。

[全解除]：全フォルダの選択を解除します。

リストアする場所を指定(一時フォルダに戻す)

C:\Users\GB-Win7\Desktop\AirBack\リストア\20110408

参照

実行 メニューに戻る

リストアする場所を選択したら[実行]をクリックします。

※ 自動でデスクトップにリストアフォルダができますが、[参照]からリストアする場所を変更することができます。

暗号化されたバックアップデータをリストアする場合は、暗号パスワードを入力する画面が表示されます。

暗号パスワードの入力

暗号パスワードを入力してください。

OK キャンセル

AirBack 確認

リストアを実行しますか?

OK キャンセル

リストア結果が表示されます。

Air Back Restore リストア処理結果

	ファイル	フォルダ
処理対象数	96	33
成功数	96	33
失敗数	0	0

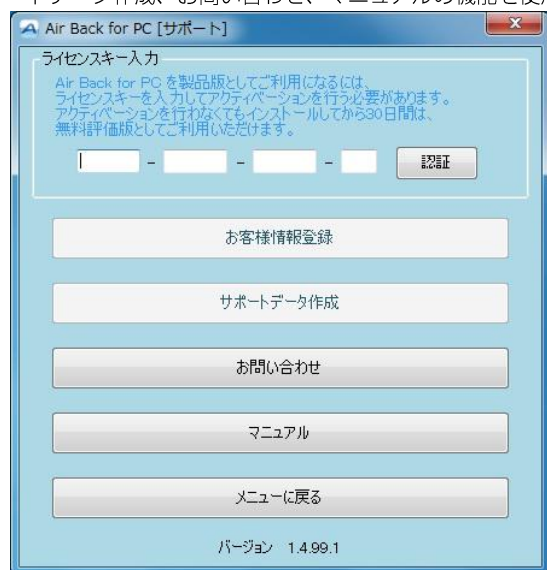
OK

リストアされたファイルは「AirBack リストア」というフォルダ内に保存されます。



4-4 サポート

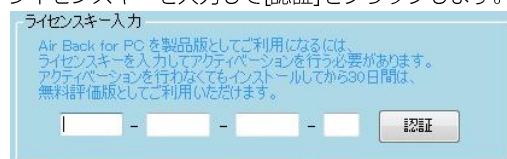
ホーム画面で[サポート]をクリックします。[サポート画面]ではライセンスキー入力（ライセンス未登録の場合）、お客様情報登録、サポートデータ作成、お問い合わせ、マニュアルの機能を使用できます。



4-4-1 ライセンスキー入力

初回設定ウィザードでライセンスキー入力をスキップした場合はこちらからライセンス認証が可能です。

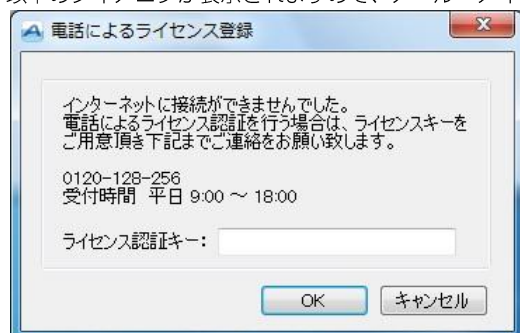
ライセンスキーを入力して[認証]をクリックします。



- ※ 製品版の場合は必ず行ってください。
- ※ Windows Vista 以降では「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されますので[はい]または[続行]をクリックしてください。

<インターネットに接続されていない場合>

以下のダイアログが表示されますので、アール・アイ電話サポートまでライセンス認証キーをお問い合わせいただき入力してください。



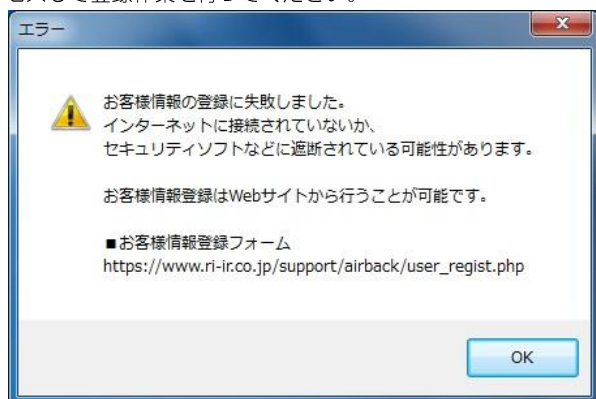
4-4-2 お客様情報登録

ライセンス認証後に表示されるサポート画面(お客様情報登録フォーム)で[後で登録]をクリックした場合は、こちらからお客様情報登録を行うことができます。詳細は 3-2 ライセンスキーの入力 を参照してください。

- ※ お客様情報登録を行うとアール・アイのサポートを受けることができます。

<インターネットに接続できない場合>

以下のメッセージが表示された場合は、インターネットに接続できる他のコンピュータから「お客様情報登録フォーム」の URL にアクセスして登録作業を行ってください。



<お客様情報登録フォームの画面>

https://www.ri-ir.co.jp/support/airback/user_regist.php



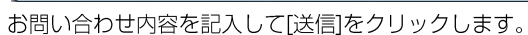
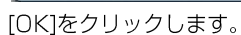
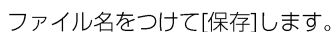
お客様情報を入力して[上記の内容でユーザ登録を実行]をクリックしてください。

4-4-3 サポートデータ作成

サポートデータ作成

クリックすると、サポートデータを作成して zip ファイルで保存します。

※ ライセンスキー入力後に使用できます。



4-4-4 お問い合わせ

アール・アイホームページのサポートフォームに移行します。

https://www.ri-ir.co.jp/support/airback/support_form.php

ライセンスキー、サポートID、ご登録メールアドレスを入力してサポートフォームに進んでください。

お問い合わせ内容を記入し、[上記内容を送信する]をクリックします。

※ サポートデータがある場合は[参照]をクリックして添付してください。

※ インターネットに接続されていない場合はインターネットに接続されている他のコンピュータからアール・アイのホームページをご覧いただきお問い合わせください。

4-4-5 マニュアル

マニュアルが表示されます。マニュアルはスタートメニューから表示することもできます。

4-4-6 メニューに戻る

かんたんメニューのホーム画面に戻ります。

4-5 標準モードに切り替える



[OK]をクリックすると標準モードに切り替わります。

5 標準モードの機能／各種設定・変更

5-1 標準モード・ホーム画面の機能

ホーム画面から各機能の設定画面に1クリックでアクセスできます。



バックアップ：バックアップ先とバックアップ元の設定を行います。

リストアと削除：データのリストア、検索、削除を行います。

オプション：隠し属性ファイルの除外、FAT タイムオプション、世代ファイルの保存方式、ファイル名・拡張子による除外、メールクライアントのテンポラリー領域、セキュリティ、バックアップアイコン、ログファイルの管理、バックアップ速度、オートコンプリータの設定・変更を行います。

ステータス&ログ：バックアップログ、リストアログ、オペレーションログの閲覧を行います。

かんたんモードへ：起動モードをかんたんモードに切り替えます。

サポート：ライセンス登録情報、お客様情報登録、サポートデータ作成、お問い合わせ、マニュアルの表示が可能です。

5-2 バックアップ

ホーム画面で[バックアップ]をクリックします。

5-2-1 バックアップ元設定

ステップ1

1. バックアップ先タブを選択します。

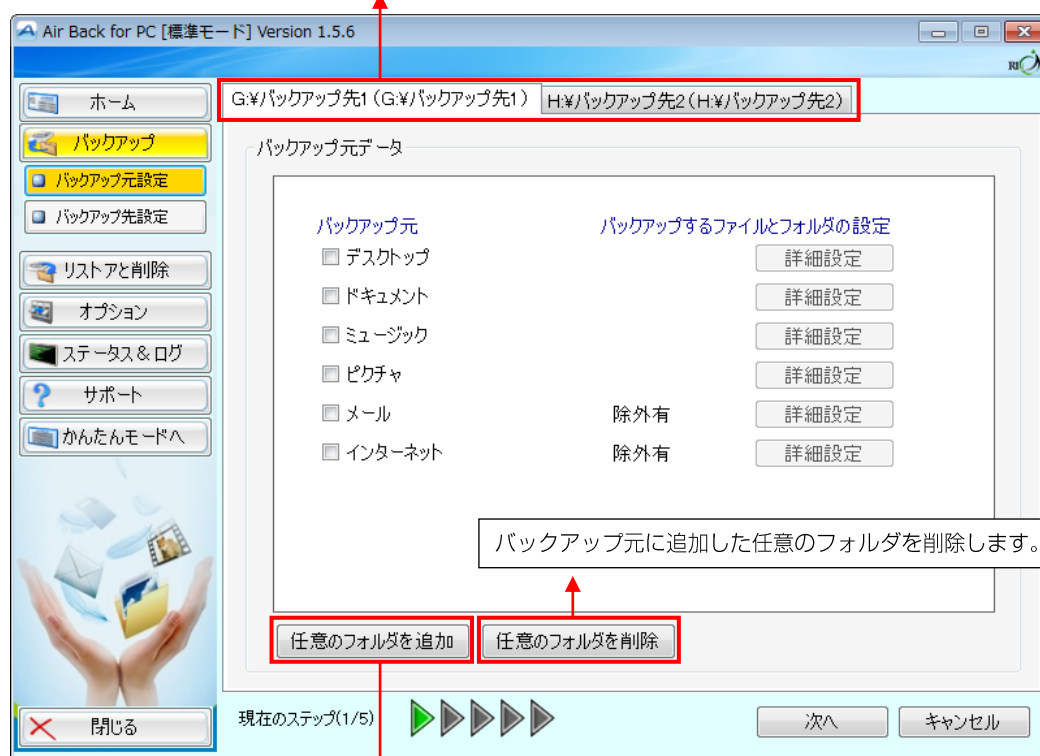
2. バックアップする対象にチェックを入れます。

※ [詳細設定]をクリックするとサブフォルダやファイルが表示されチェックボックスにチェックが入っています。チェックを外すとバックアップされません。

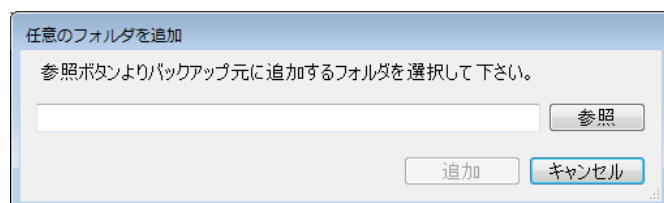
3. [次へ]をクリックして次のステップに進みます。

※ 最後のステップまで進み設定を確定するまでは登録されません。

バックアップ先に指定した場所がタブで表示されます。



バックアップ元に追加した任意のフォルダを削除します。



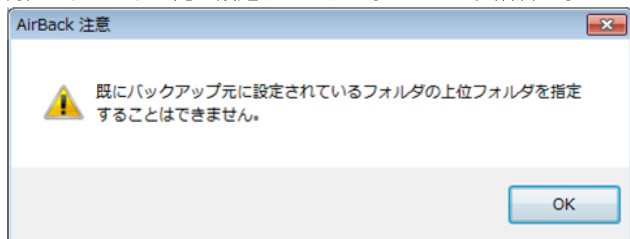
任意の場所をバックアップ元に追加することができます

<バックアップ設定での注意点>

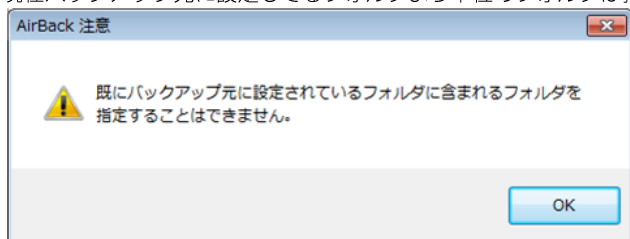
バックアップ先が複数の場合は全てのバックアップ先に対してバックアップ元フォルダを選択してください。

「C:\」 「C:\Windows」 「C:\Program Files」 をバックアップ元にすることはできません。

現在バックアップ元に設定しているフォルダの上位階層フォルダは指定できません。



現在バックアップ元に設定しているフォルダより下位のフォルダは指定できません。



ステップ2

バックアップ元ごとにバックアップ方式を設定します。



<リアルタイム>

ファイルの変化をリアルタイムに検知してバックアップする方式です。設定後5分経過すると初回バックアップが実行されます。メール、インターネットでは選択できません。

<スケジュール>

設定したスケジュールに従ってバックアップする方式です。

スケジュール設定

☒ 毎週実行する
☐ 実行する週を指定する
☐ 第1週 ☐ 第2週 ☐ 第3週 ☐ 第4週 ☐ 第5週

	日	月	火	水	木	金	土
00 時	--	--	--	--	--	--	--
01 時	--	--	--	--	--	--	--
02 時	--	--	--	--	--	--	--
03 時	--	--	--	--	--	--	--
04 時	--	--	--	--	--	--	--
05 時	--	--	--	--	--	--	--
06 時	--	--	--	--	--	--	--
07 時	--	--	--	--	--	--	--
08 時	--	--	--	--	--	--	--
09 時	--	--	--	--	--	--	--
10 時	--	--	--	--	--	--	--
11 時	--	--	--	--	--	--	--
12 時	--	--	--	--	--	--	--

確定 キャンセル

バックアップする週と曜日、時刻を選択し、[確定]をクリックします。

<シャットダウン>

PC をシャットダウンすると、ダイアログが表示されるので動作を選択します。バックアップ完了時にシャットダウンさせる方式です。

- ※ Windows8 ではシャットダウンやサインアウトを行うと、[強制的にシャットダウン（サインアウト）する]か[キャンセル]するかを選択する画面が表示されますので、[キャンセル]を選択するとデスクトップにダイアログが表示されます。



デスクトップをクリックします。

<インターバル>

メールとインターネットのバックアップでのみ選択できます。指定した時間間隔でバックアップする方式です。

☒ メール インターバル 3 時間間隔

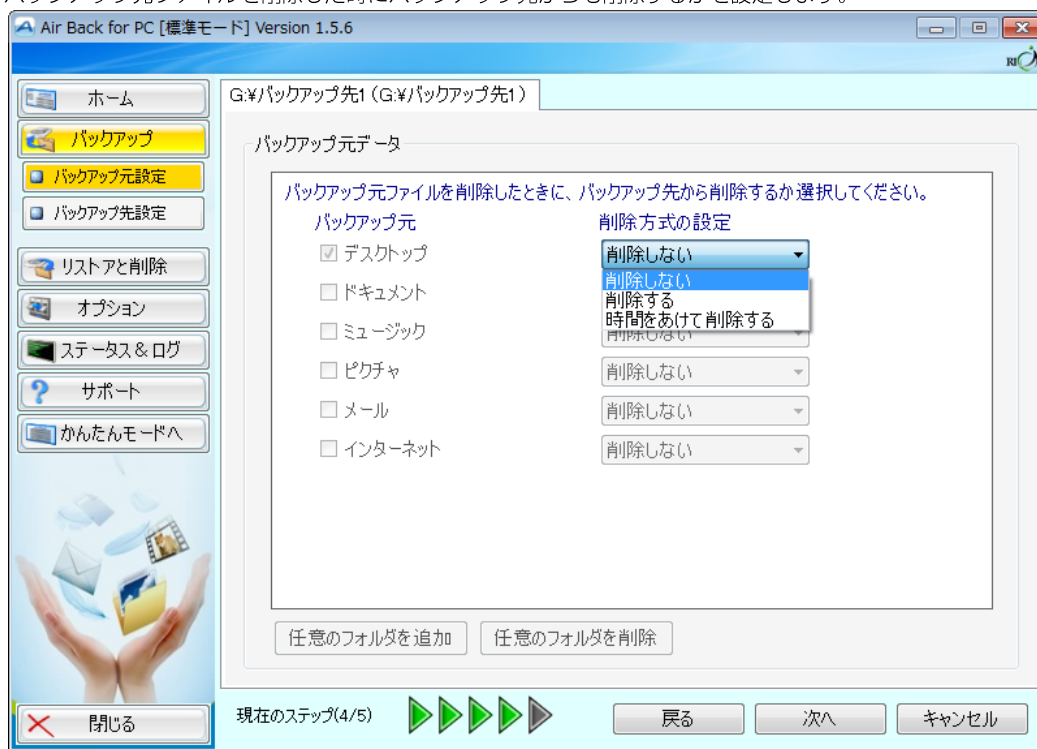
ステップ3

世代を保存するかを設定します。「保存する」を選択した場合は保存する世代数を 1～99 の範囲で設定します。



ステップ4

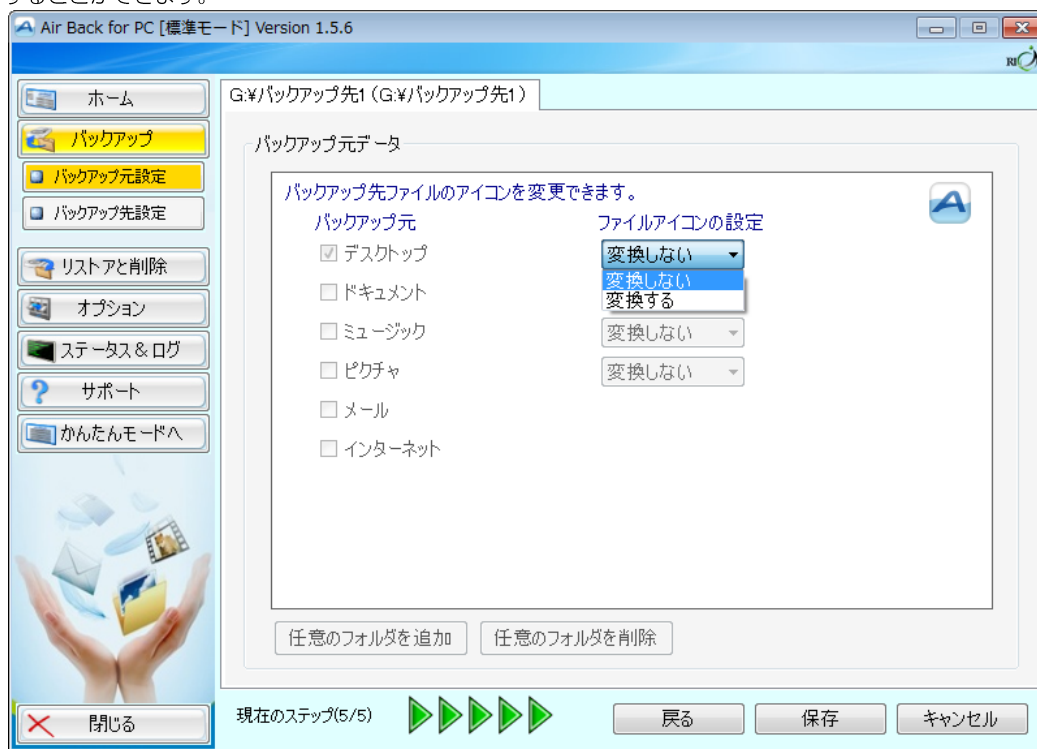
バックアップ元ファイルを削除した時にバックアップ先からも削除するかを設定します。



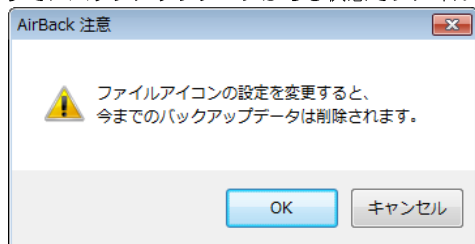
※ バックアップ方式によってバックアップ先にあるバックアップファイルを削除するタイミングが異なります。
詳細は、3-5-6 その他の設定 を参照してください。

ステップ5

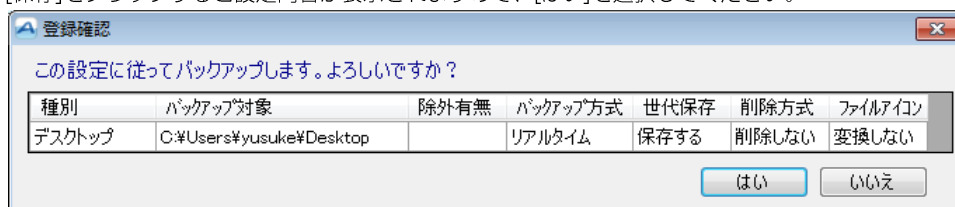
バックアップ先に転送されるファイルのアイコンと拡張子を変換しファイル名も数字に変換されますので、何ファイルなのかわからなくすることができます。



すでにバックアップデータがある状態でファイルアイコンの設定を変更すると、バックアップデータは削除されます。



[保存]をクリックすると設定内容が表示されますので、[[はい]]を選択してください。



種別	バックアップ対象	除外有無	バックアップ方式	世代保存	削除方式	ファイルアイコン
デスクトップ	C:\Users\yusuke\Desktop		リアルタイム	保存する	削除しない	変換しない

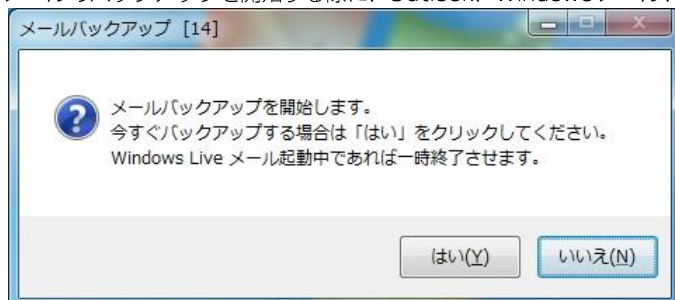
<メールバックアップについて>

メールバックアップではメール本文とアドレス帳をバックアップ対象としております。

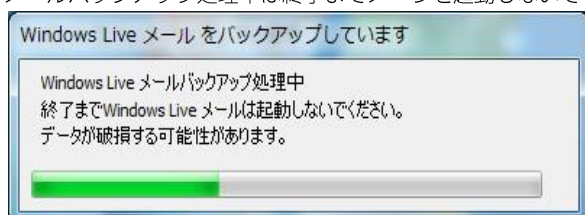
対象メーラ

Outlook Express、Outlook（2003、2007、2010）、Windows メール、Windows Live メール、Becky!、Thunderbird

メールのバックアップを開始する際に、Outlook、Windows メール、Windows Live メール は一時終了します。

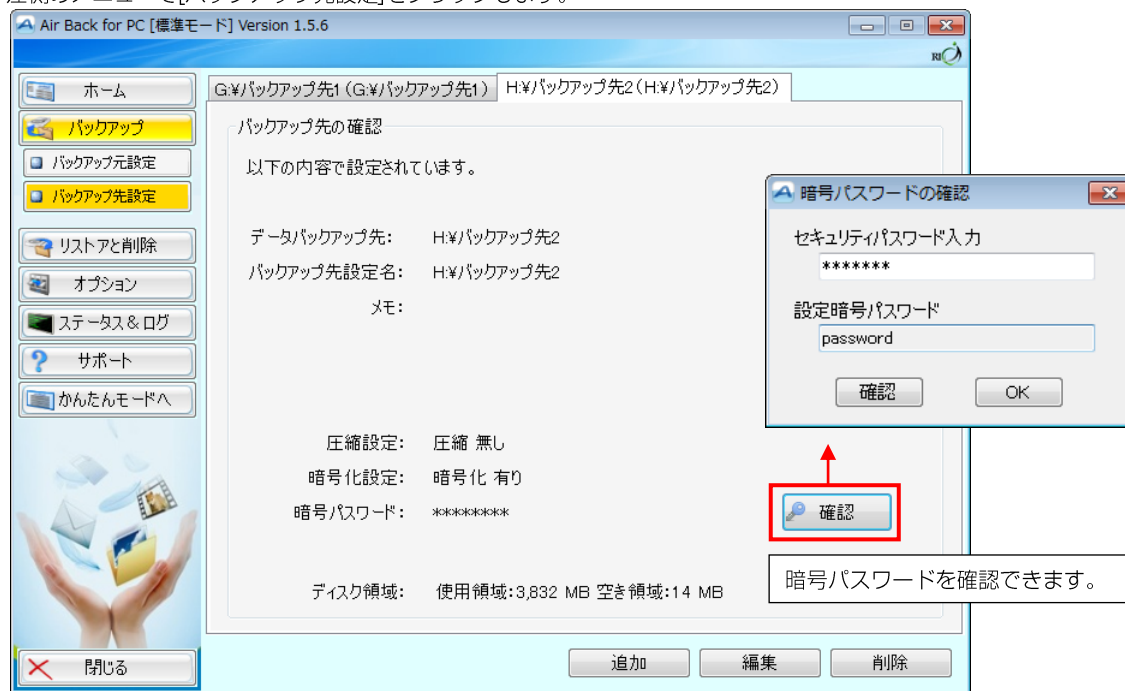


メールバックアップ処理中は終了までメーラを起動しないでください。



5-2-2 バックアップ先設定

左側のメニューで[バックアップ先設定]をクリックします。



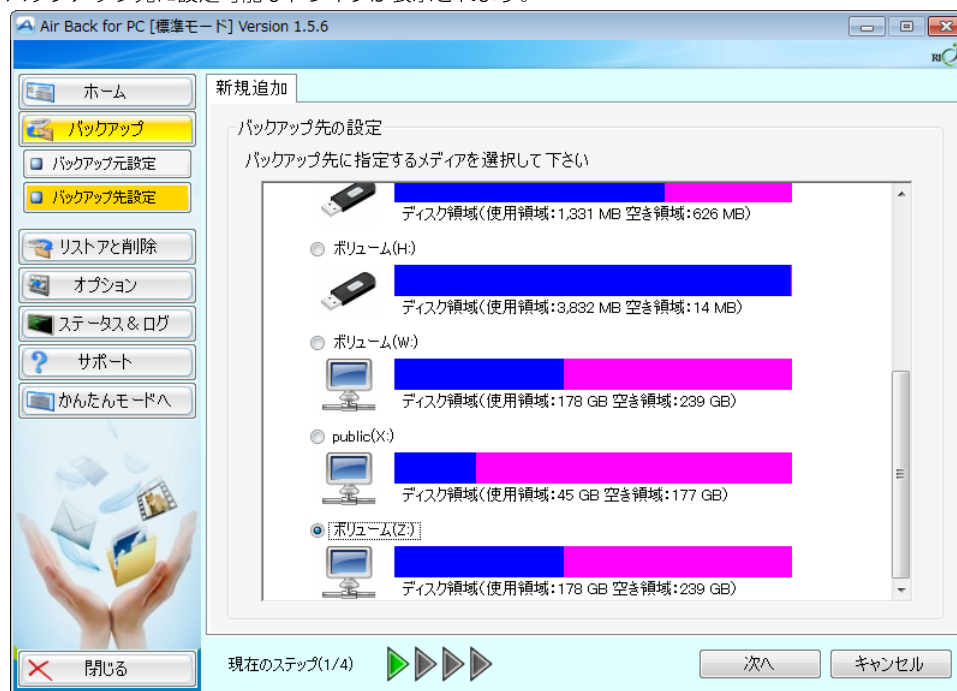
バックアップ先の追加・編集・削除を行います。

<バックアップ先の追加>

バックアップ先設定画面で[追加]をクリックします。

ステップ1

バックアップ先に設定可能なドライブが表示されます。

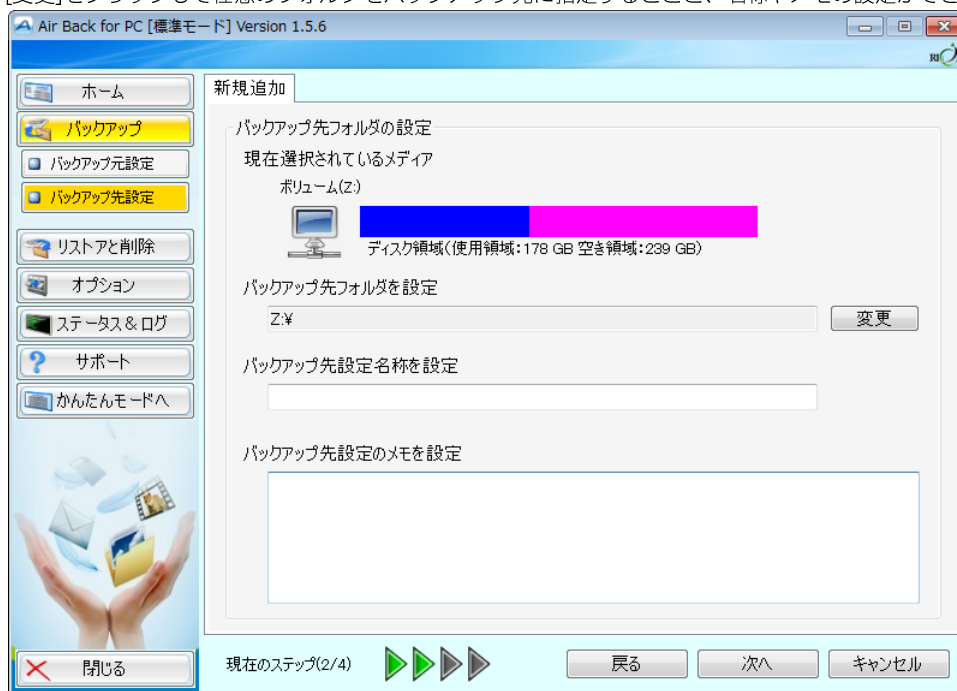


チェックを入れて、[次へ]をクリックします。

※ ネットワークドライブは事前に割り当ててることで一覧に表示されます。

ステップ2

[変更]をクリックして任意のフォルダをバックアップ先に指定すること、名称やメモの設定ができます。



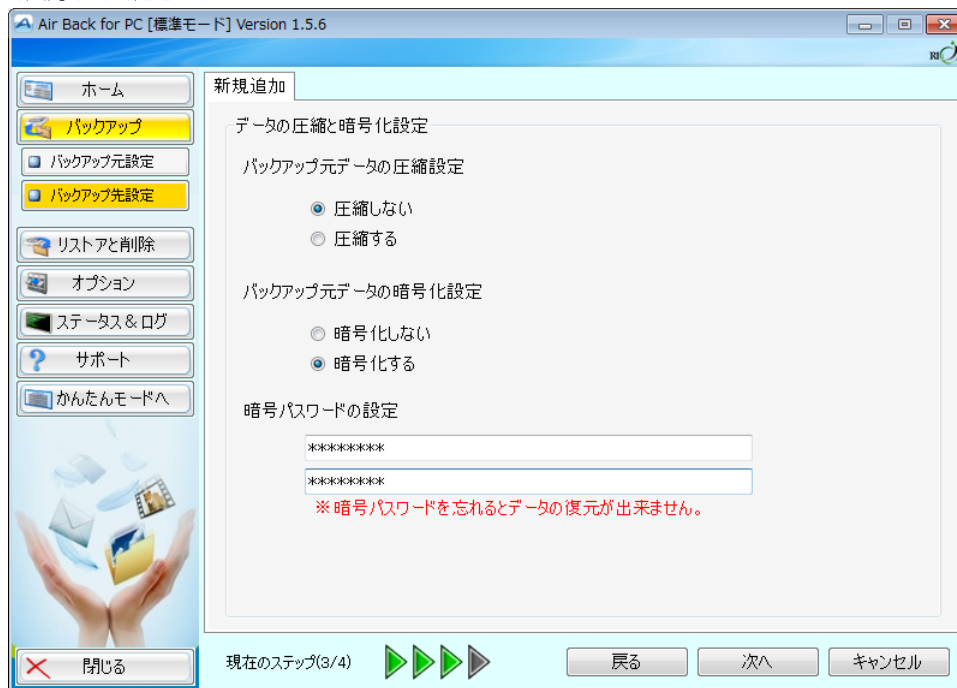
指定した場所には「R」フォルダが作成され、その中にバックアップデータが転送されます。

例：Z ドライブの中の「Backup」フォルダを指定して、デスクトップをバックアップする場合

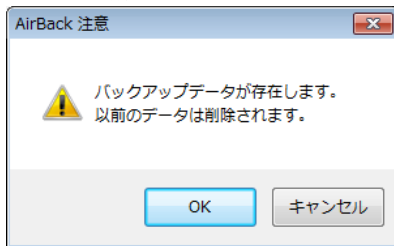
Z:\Backup\R\ユーザー名\DT\00

ステップ3

バックアップデータを圧縮するか、暗号化するかを選択します。暗号化する、を選択した場合はパスワードを半角英数字で 1～16 文字で入力してください。

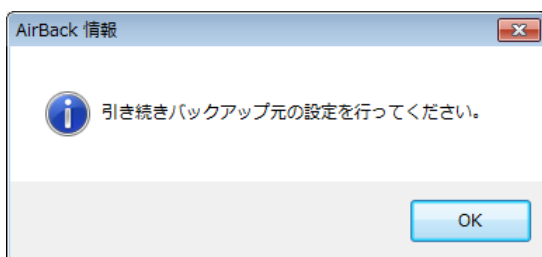
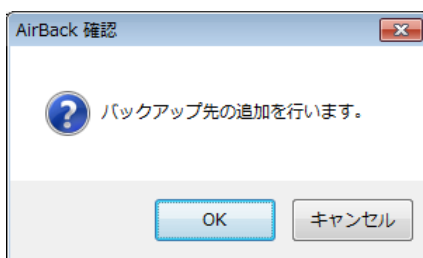


指定した場所に以前のバックアップデータが存在する場合は削除されます。



ステップ4

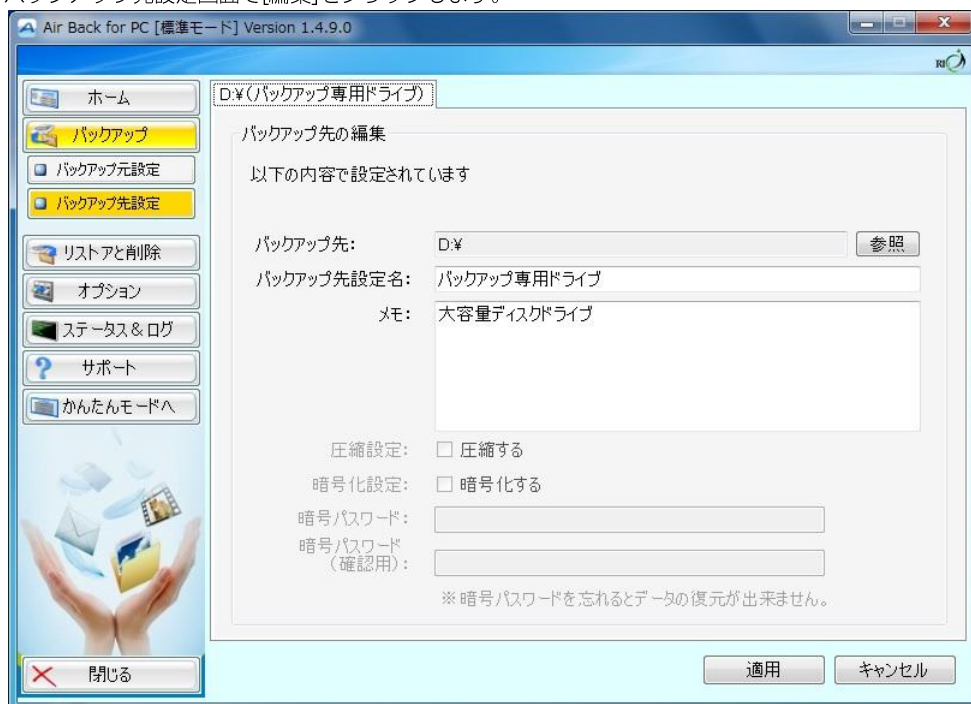
[完了]をクリックするとバックアップ先が追加されます。



[OK]をクリックします。引き続き、5-2-1 バックアップ元設定 を行ってください。

<バックアップ先の編集>

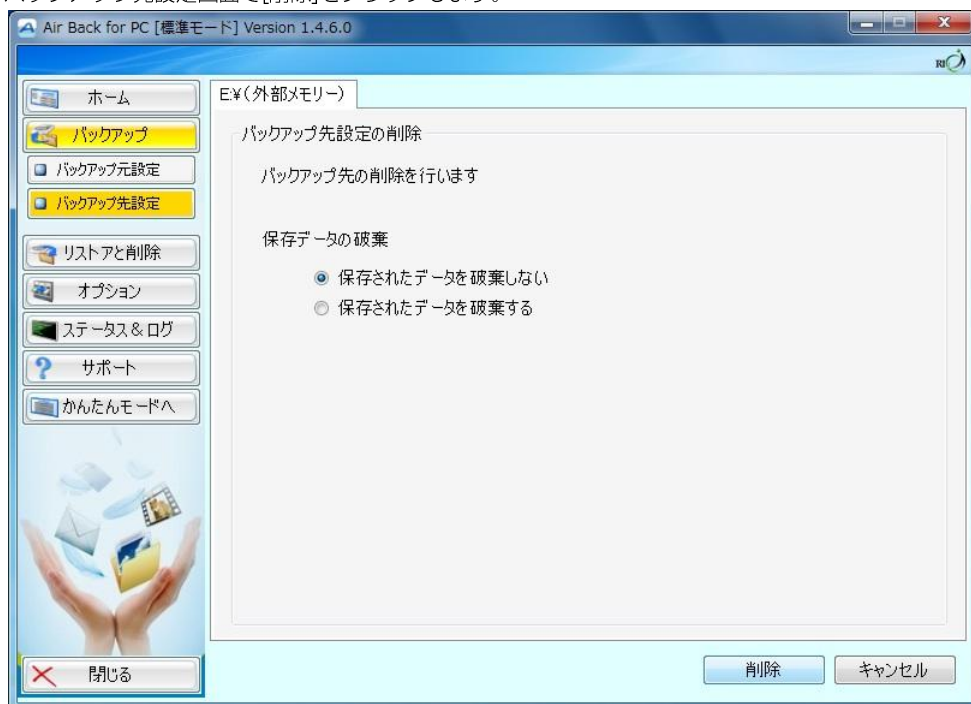
バックアップ先設定画面で[編集]をクリックします。



[参照]をクリックしてバックアップ先フォルダを変更やバックアップ先設定名、メモを入力することができます。
変更後は[適用]をクリックしてください。

<バックアップ先の削除>

バックアップ先設定画面で[削除]をクリックします。



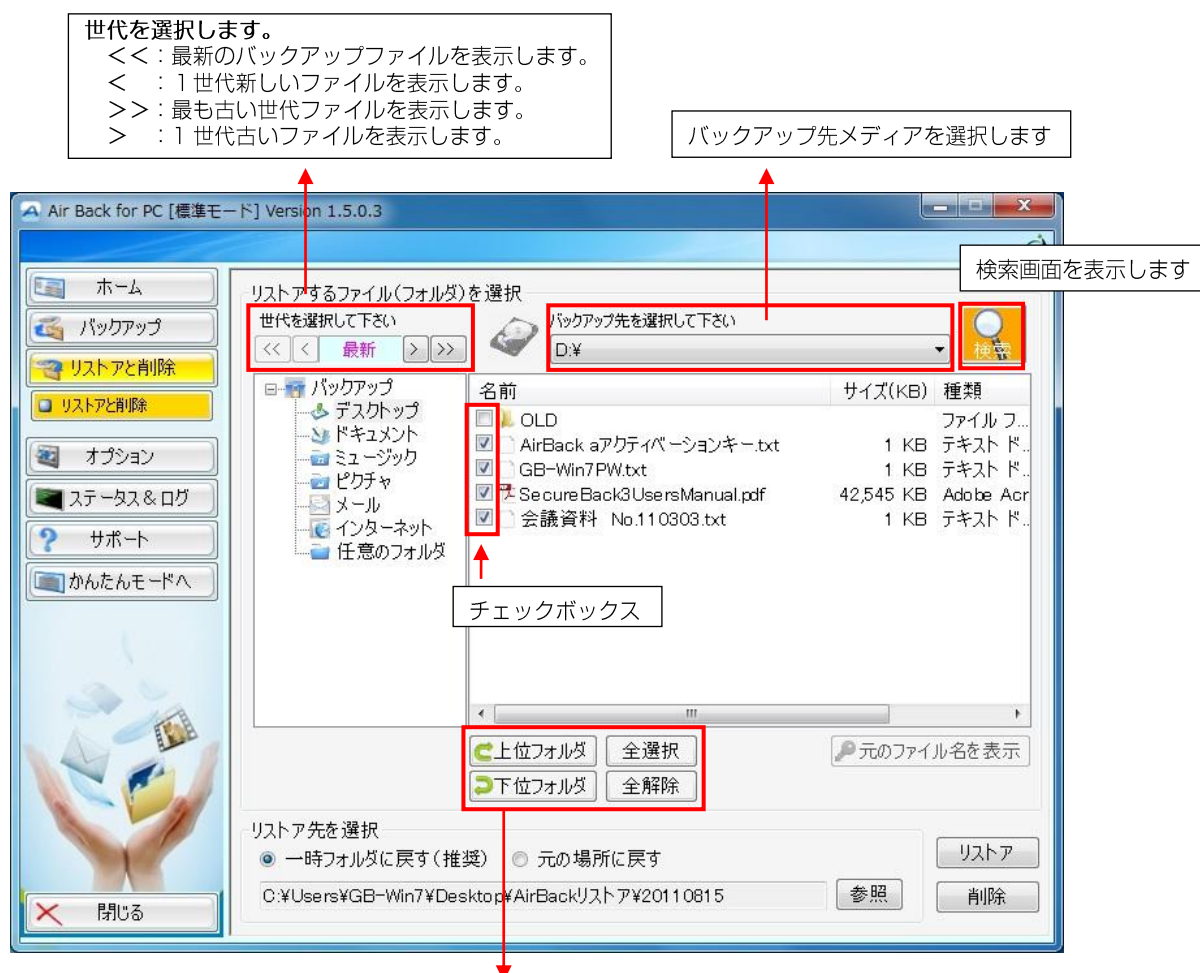
[保存されたデータを破棄しない]か[保存されたデータを破棄する]のどちらかを選択して[削除]をクリックします。

5-3 リストアと削除

ホーム画面で[リストアと削除]をクリックします。

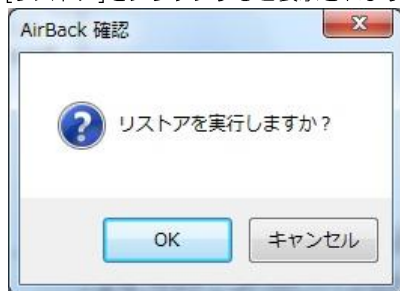
1. バックアップ先メディアを選択します。
2. 世代の選択と左側のリストからバックアップ設定を行っている場所を選択します
3. チェックボックスにチェックを入れて[リストア]または[削除]をクリックします。

※ リストアの場合は[一時フォルダ]か[元の場所]をリストア先に選択できます。

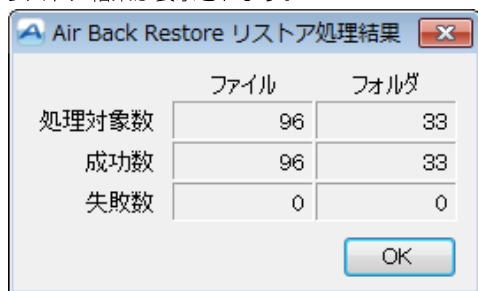


[上位フォルダ] : 選択したフォルダの上位ディレクトリを表示します。
[下位フォルダ] : 選択したフォルダの下位ディレクトリを表示します。
[全選択] : 表示されているバックアップファイルをすべて選択します。

[リストア]をクリックすると表示されます。



リストア結果が表示されます。



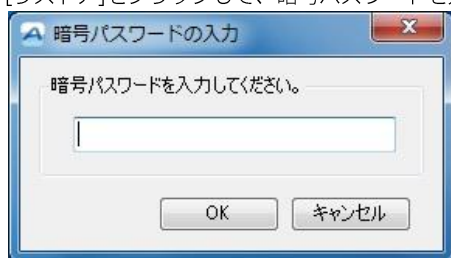
リストアされたファイルは「AirBack リストア」というフォルダ内に保存されます。

※ このフォルダがバックアップされることはありません。



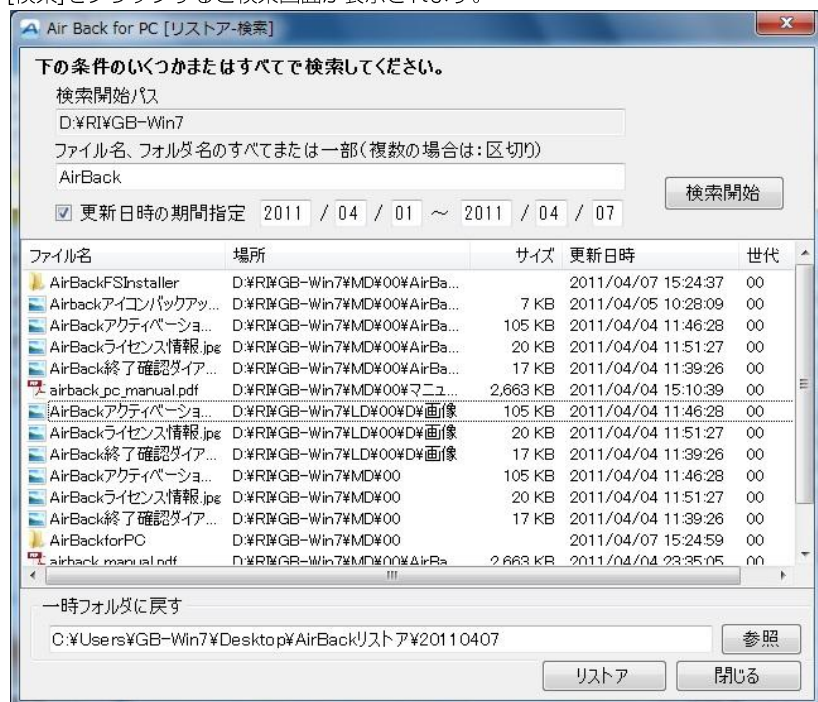
<暗号化する設定でバックアップしていた場合>

[リストア]をクリックして、暗号パスワードを入力するとリストアできます。



<検索画面を使用してリストアを行う場合>

[検索]をクリックすると検索画面が表示されます。



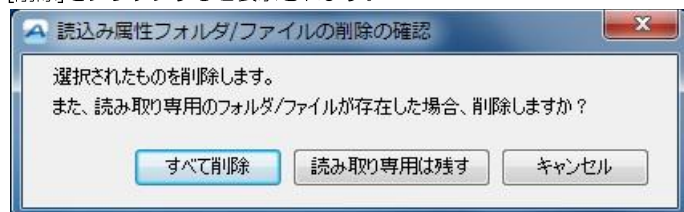
「ファイル名、フォルダ名のすべてまたは一部（複数の場合は：区切り）」欄に検索ワードを入力し[検索開始]をクリックします。
「更新日時の期間指定」にチェックを入れて期間を指定することもできます。

一覧に表示されたファイルやフォルダを選択してください。

※ Ctrl や Shift を使用して複数を選択することができます。

<削除の場合>

[削除]をクリックすると表示されます。

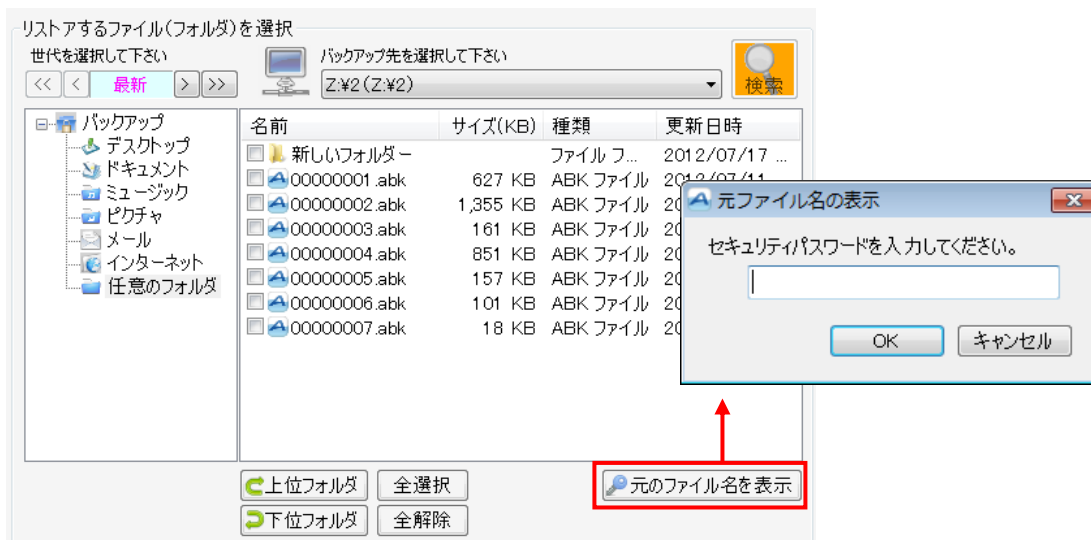


[すべて削除]または[読み取り専用は残す]のどちらかをクリックします。

<元のファイル名を表示する>

ファイルアイコンを「変換する」設定でバックアップしている場合は、ファイル名が数字で表示されています。

[元のファイル名を表示]ボタンから、元のファイル名を確認することができます。



セキュリティパスワードを入力して[OK]をクリックすると、元のファイル名が表示されます。

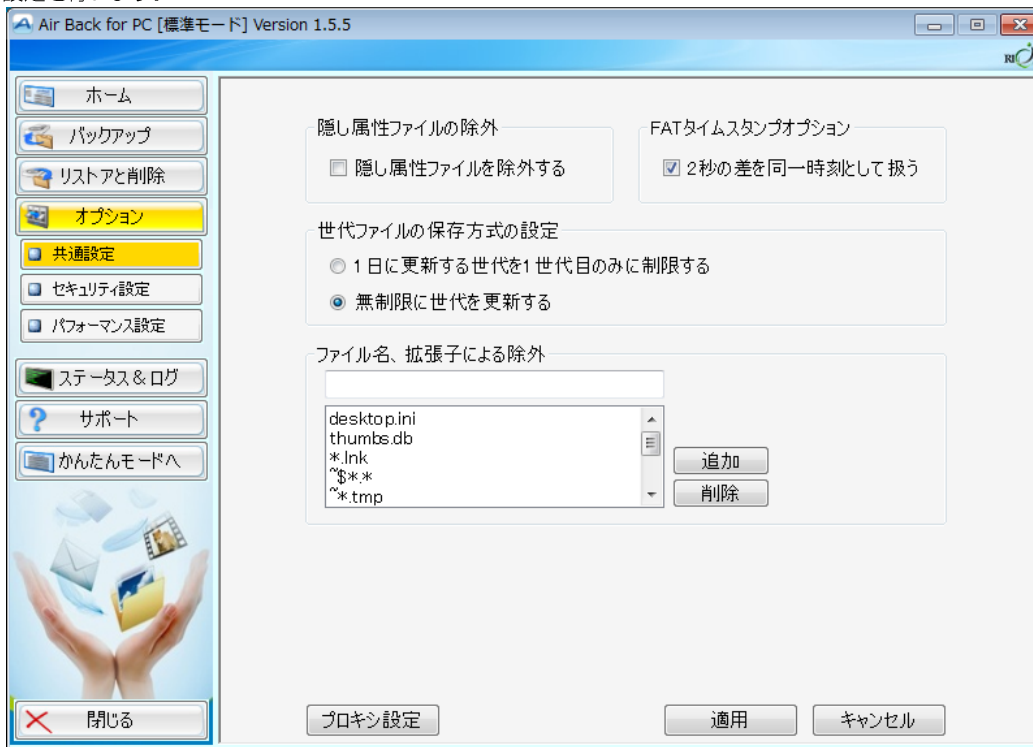
5-4 オプション

ホーム画面で[オプション]をクリックします。

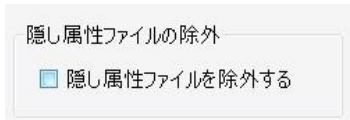
[オプション]では、共通設定、セキュリティ設定、パフォーマンス設定を行います。

5-4-1 共通設定

共通設定では、隠し属性ファイルの除外、FAT タイムオプション、世代ファイルの保存方式、ファイル名・拡張子による除外、プロキシ設定を行います。

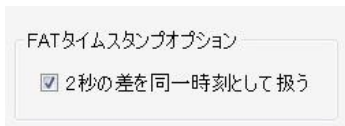


<隠し属性ファイルの除外>



隠し属性ファイルをバックアップ対象から除外します。

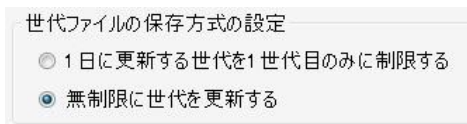
<FAT タイムスタンプオプション>



2 秒の差を同一時刻として扱いバックアップを実行します。

※ FAT フォーマット上ではタイムスタンプが偶数秒に変換されるため、FAT フォーマットのドライブへバックアップを行うとバックアップ元ファイルとのタイムスタンプに差異が生じてしまいます。FAT フォーマットのドライブへバックアップを行う場合は有効にしてください。

<世代ファイルの保存方式>

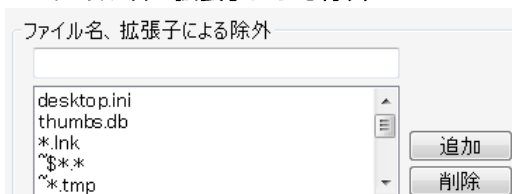


「1 日に更新する世代を 1 世代目のみに制限する」あるいは「無制限に世代を更新する」のどちらかを選択します。

1 日に更新する世代を 1 世代目のみに限定する：1 日に何度ファイルが更新されても、当日は最新と 1 世代目のみが更新され、2 世代目以降は更新されません。この設定を有効にする場合は保存する世代数を 2 以上にしてください。

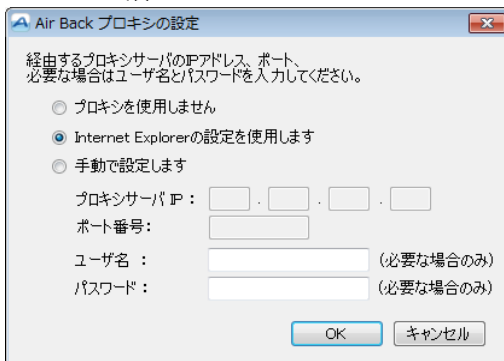
無制限に世代を更新する：ファイルが更新される度に世代ファイルも更新されます。

<ファイル名・拡張子による除外>



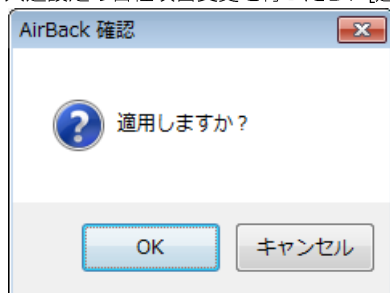
すべてのバックアップ元から指定したファイルを除外します。ファイル名または拡張子を入力して[追加]をクリックすると除外対象として設定されます。

<プロキシ設定>



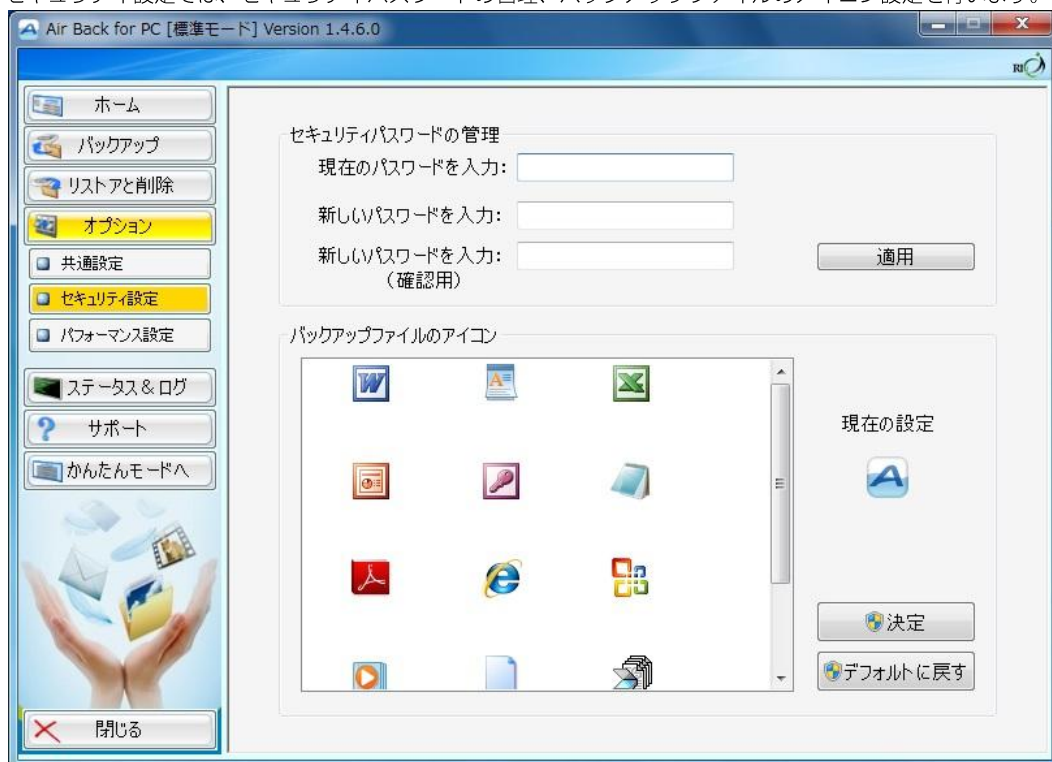
Internet Explorer に設定されている値を使用するか、手動で設定します。

共通設定の各種項目変更を行ったら、[適用]をクリックします。



5-4-2 セキュリティ設定

セキュリティ設定では、セキュリティパスワードの管理、バックアップファイルのアイコン設定を行います。



<セキュリティパスワードの管理>

ファイルの暗号化に使用する暗号パスワードの確認やファイルアイコンの変換に使用するセキュリティパスワードを管理します。
新しいセキュリティパスワードを適用するためには現在のセキュリティパスワードの入力が必要です。



各セキュリティパスワードを入力し[適用]をクリックします。

確認ダイアログで[OK]をクリックします。

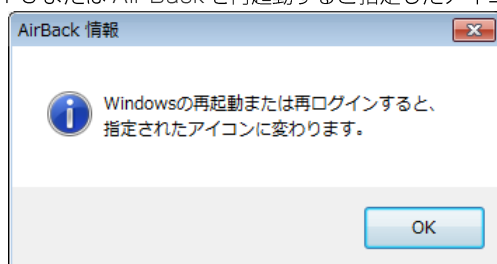
<バックアップファイルのアイコン>

バックアップ先に転送されるファイルのアイコンを変換し、何のファイルかわからなくすることができます。
ボックスに表示されているファイルアイコンから変更したいアイコンをクリックして、[決定]をクリックします。



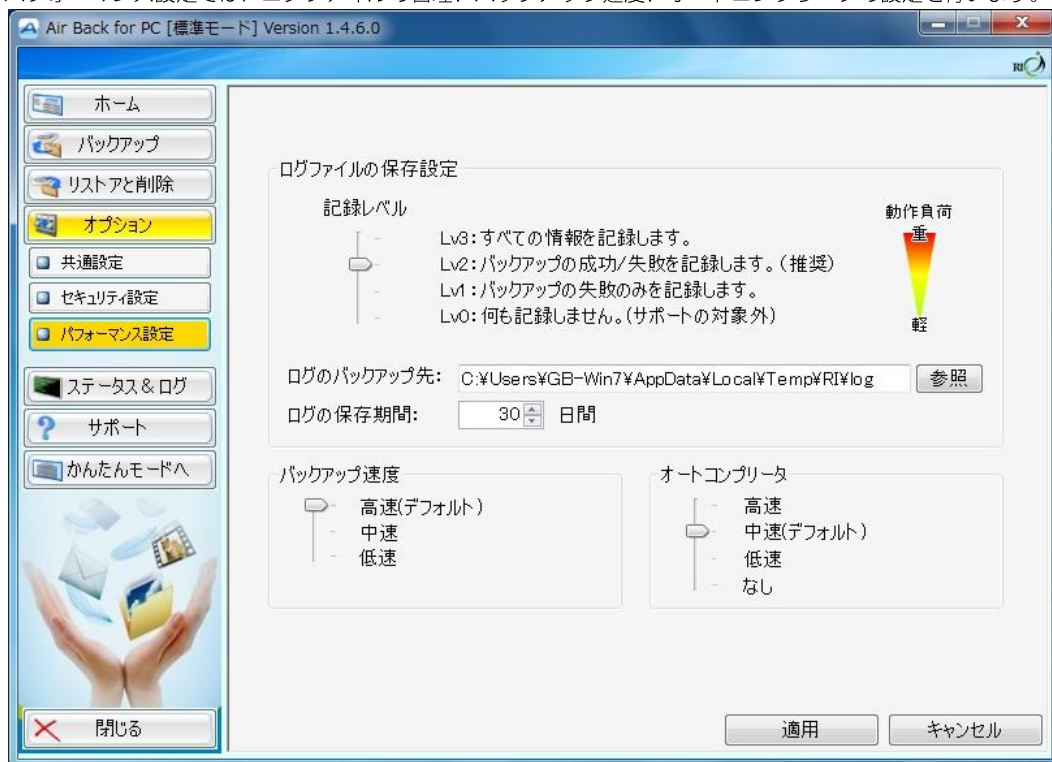
[デフォルトに戻す]をクリックするとファイルアイコンは Air Back アイコンに戻ります。

PC または Air Back を再起動すると指定したアイコンに変更されます。

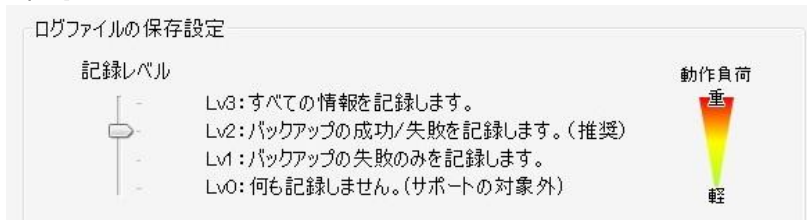


5-4-3 パフォーマンス設定

パフォーマンス設定では、ログファイルの管理、バックアップ速度、オートコンプリータの設定を行います。



<記録レベル>



スライダでログの記録レベルを変更します。

初期値は Lv2 です。ログレベルを低くすることで PC への負荷は減ります。

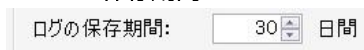
※ お問い合わせの際には一時的に Lv3 にして頂く場合があります。

<ログのバックアップ先>



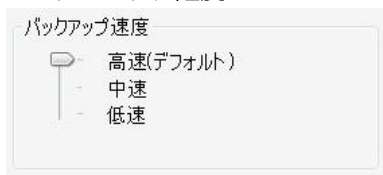
[参照]をクリックしてログのバックアップ先フォルダを選択します。

<ログの保存期間>



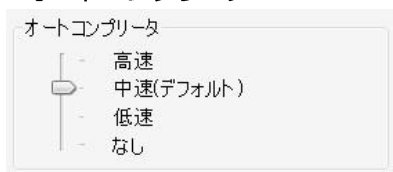
日数を変更できます。

<バックアップ速度>



スライダでバックアップ速度を変更します。速度を遅くすることで PC への負荷は減ります。

<オートコンプリータ>



スライダでオートコンプリータの速度を変更します。

※ オートコンプリータとは、バックアップ方式をリアルタイムに設定しているバックアップ元に対して動作する機能です。

Air Back が起動してから 5 分後にバックアップ元のスキャンを開始しバックアップ先と同期します。

パフォーマンス設定の各種項目変更を行ったら、[適用]をクリックします。



5-5 ステータス&ログ

ホーム画面で[ステータス&ログ]をクリックします。

[ステータス&ログ]では、バックアップログ、リストアログ、オペレーションログの閲覧を行います。

※ コンテキストメニューから開くことも可能です。詳しくは 6-1 コンテキストメニューを開く を参照してください。

5-5-1 バックアップログ

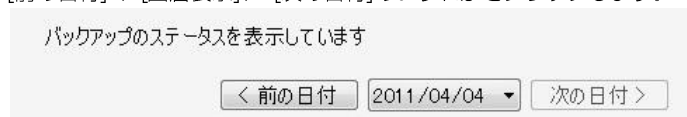
バックアップログとバックアップ先のディスク使用状況を表示します。



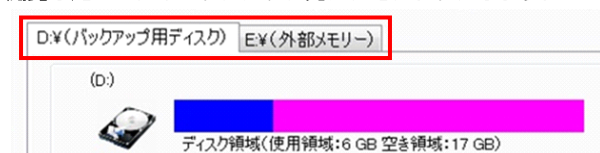
バックアップログでは日付、バックアップ先、バックアップ元ごとにバックアップログの詳細を閲覧できます。

閲覧したいログの日付を選択します。

[前の日付]、[西暦表示]、[次の日付]のいずれかをクリックします。



閲覧したいログのバックアップ先タブをクリックします。



成功数：バックアップに成功した数です。

失敗数：バックアップに失敗した数です。

詳細：[詳細]をクリックしてログの詳細を表示します。

種類	日時	内容	対象ファイル
成功	2012/10/12 17:54:03	バックアップが成功しました	C:\Users\yusuke\Desktop\p¥テス...
成功	2012/10/12 17:54:00	バックアップが成功しました	C:\Users\yusuke\Desktop\p¥テス...
成功	2012/10/12 17:53:52	バックアップが成功しました	C:\Users\yusuke\Desktop\p¥テス...
成功	2012/10/12 17:53:29	バックアップが成功しました	C:\Users\yusuke\Desktop\p¥テス...
成功	2012/10/12 17:53:29	バックアップが成功しました	C:\Users\yusuke\Desktop\p¥テス...
成功	2012/10/12 17:53:27	バックアップが成功しました	C:\Users\yusuke\Desktop\p¥テス...
成功	2012/10/12 17:53:26	バックアップが成功しました	C:\Users\yusuke\Desktop\p¥テス...
成功	2012/10/12 17:53:25	バックアップが成功しました	C:\Users\yusuke\Desktop\p¥テス...
成功	2012/10/12 17:53:24	バックアップが成功しました	C:\Users\yusuke\Desktop\p¥テス...
成功	2012/10/12 17:53:22	バックアップが成功しました	C:\Users\yusuke\Desktop\p¥テス...
成功	2012/10/12 17:53:21	バックアップが成功しました	C:\Users\yusuke\Desktop\p¥テス...
成功	2012/10/12 17:53:20	バックアップが成功しました	C:\Users\yusuke\Desktop\p¥テス...
成功	2012/10/12 17:53:19	バックアップが成功しました	C:\Users\yusuke\Desktop\p¥テス...
成功	2012/10/12 17:53:17	バックアップが成功しました	C:\Users\yusuke\Desktop\p¥テス...
成功	2012/10/12 17:53:17	バックアップが成功しました	C:\Users\yusuke\Desktop\p¥テス...
成功	2012/10/12 17:53:15	バックアップが成功しました	C:\Users\yusuke\Desktop\p¥テス...
成功	2012/10/12 17:53:15	バックアップが成功しました	C:\Users\yusuke\Desktop\p¥テス...
成功	2012/10/12 17:53:13	バックアップが成功しました	C:\Users\yusuke\Desktop\p¥テス...
成功	2012/10/12 17:53:12	バックアップが成功しました	C:\Users\yusuke\Desktop\p¥テス...
成功	2012/10/12 17:53:12	バックアップが成功しました	C:\Users\yusuke\Desktop\p¥テス...
成功	2012/10/12 17:53:09	バックアップが成功しました	C:\Users\yusuke\Desktop\p¥テス...
成功	2012/10/12 17:53:09	バックアップが成功しました	C:\Users\yusuke\Desktop\p¥テス...
成功	2012/10/12 14:06:06	バックアップが成功しました	C:\Users\yusuke\Desktop\p¥無...
成功	2012/10/12 14:06:06	バックアップが成功しました	C:\Users\yusuke\Desktop\p¥新...
成功	2012/10/12 14:06:05	バックアップが成功しました	C:\Users\yusuke\Desktop\p¥ライ...

※ [詳細モードへ切替]は、ログ記録レベルがLv3 の場合のみ詳細が表示されます。

5-5-2 リストアログ

リストアログとバックアップ先のディスク使用状況を表示します。

ホーム

バックアップ

リストアと削除

オプション

ステータス & ログ

バックアップ

リストア

オペレーション

サポート

かんたんモードへ

リストアのステータスを表示しています

< 前の日付

2011/04/04

次の日付 >

D¥(バックアップ用ディスク)

E¥(外部メモリー)

(D:)

ディスク領域(使用領域:6 GB 空き領域:17 GB)

種別	成功数	失敗数	詳細
デスクトップ	102	0	詳細
ドキュメント	122	0	詳細

リストアログでは日付、バックアップ先、バックアップ元ごとにリストアログの詳細を閲覧できます。

閲覧したいログの日付を選択します。

[前の日付]、[西暦表示]、[次の日付]のいずれかをクリックします。
リストアのステータスを表示しています

< 前の日付 2011/04/04 次の日付 >

閲覧したいログのバックアップ先タブをクリックします。



成功数: リストアに成功した数です。

失敗数: リストアに失敗した数です。

詳細: [詳細]をクリックしてログの詳細を表示します。

5-5-3 オペレーションログ

オペレーションログを表示します。



オペレーションログでは日付ごとにオペレーションログの詳細を閲覧できます。

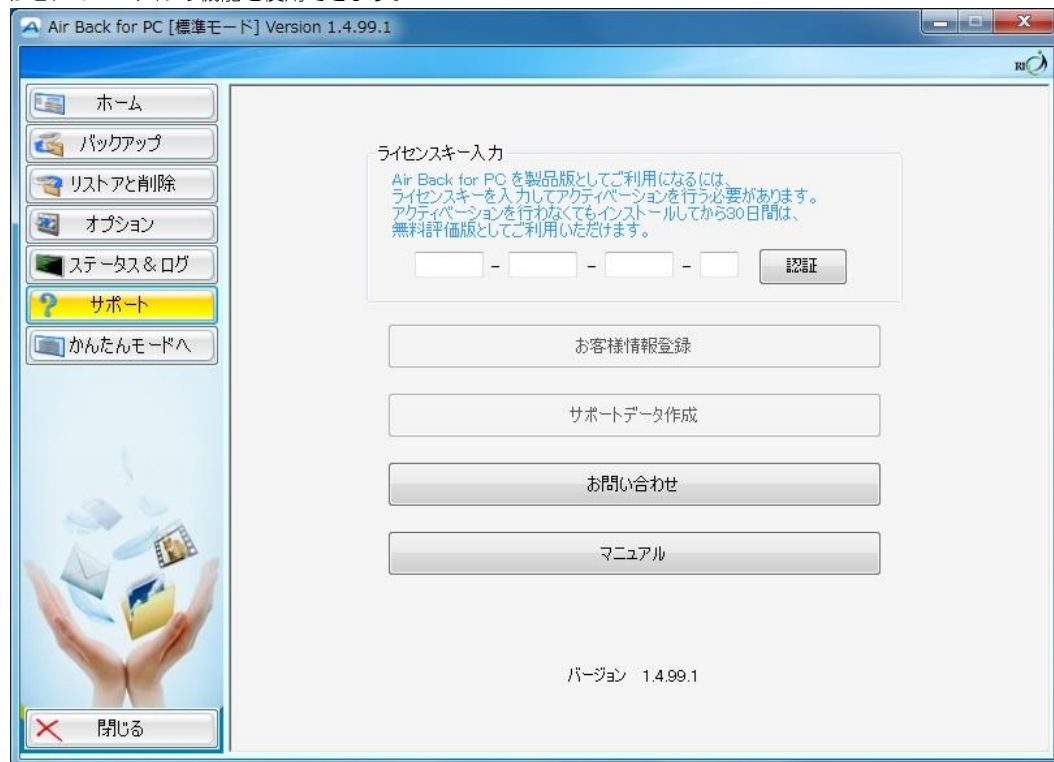
閲覧したいログの日付を選択します。

[前の日付]、[西暦表示]、[次の日付]のいずれかをクリックします。

< 前の日付 2011/04/05 次の日付 >

5-6 サポート

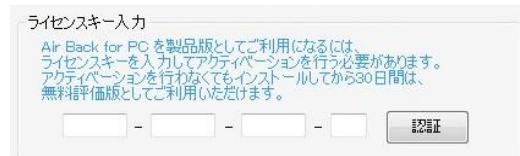
ホーム画面で[サポート]をクリックします。[サポート画面]ではライセンス登録情報、お客様情報登録、サポートデータ作成、お問い合わせ、マニュアルの機能を使用できます。



5-6-1 ライセンスキー入力

初回設定ウィザードでライセンスキーの入力をスキップした場合は、こちらからライセンス認証が可能です。

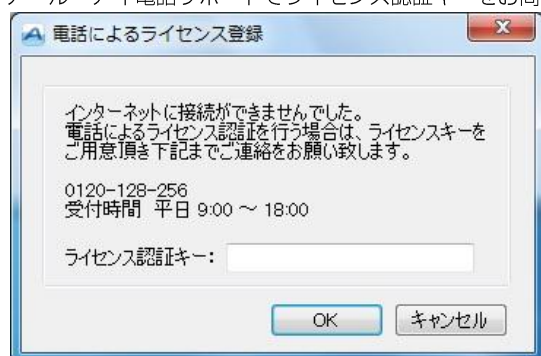
ライセンスキーを入力して[認証]をクリックします。



- ※ 製品版の場合は必ず行ってください。
- ※ Windows Vista 以降では「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されますので[はい]または[続行]をクリックしてください。

<インターネットに接続されていない場合>

アール・アイ電話サポートでライセンス認証キーをお問い合わせいただき以下のダイアログに入力してください。



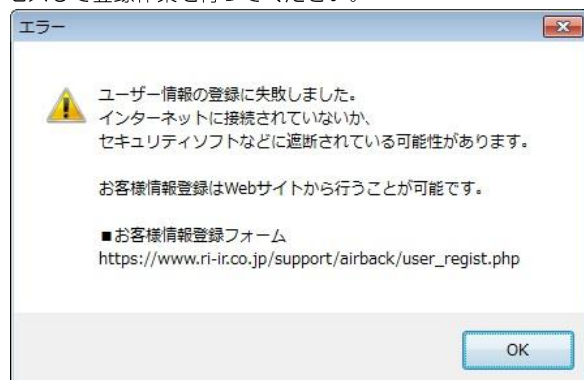
5-6-2 お客様情報登録

ライセンス認証後に表示されるサポート画面(お客様情報登録フォーム)で[キャンセル]をクリックした場合は、こちらからお客様情報登録を行うことができます。詳細は **3-2 ライセンスキーの入力** を参照してください。

※ お客様情報登録を行うとアール・アイのサポートを受けることができます。

<インターネットに接続できない場合>

以下のメッセージが表示された場合は、インターネットに接続できる他のコンピュータから「お客様情報登録フォーム」の URL にアクセスして登録作業を行ってください。



<お客様情報登録フォームの画面>

https://www.ri-ir.co.jp/support/airback/user_regist.php

The screenshot shows a web browser window displaying the 'Air Back お客様情報登録' (Air Back Customer Information Registration) form. The form is part of the RI Co., Ltd. support site. It includes a sidebar with navigation links such as 'サポート' (Support) and 'Air Back サポート' (Air Back Support). The main form area contains a title bar, a description of the registration process, and a series of input fields for customer information. The fields are labeled as follows:

- ライセンスキー (License Key): A text input field.
- 個人/法人 (Individual/Corporate): A radio button selection with '法人として使用' (Use as corporate) selected.
- 会社名(全角) (Company Name (Full-width)): A text input field.
- カナ(全角) (Kana (Full-width)): A text input field.
- 会社住所(全角) (Company Address (Full-width)): A text input field.
- 部署名(全角) (Department Name (Full-width)): A text input field.
- 担当者(全角) (Person in Charge (Full-width)): A text input field.

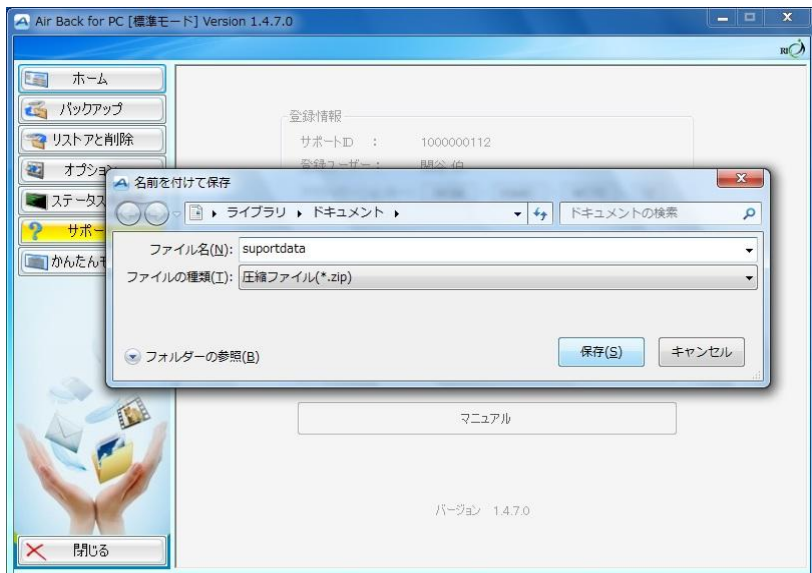
必要な項目すべてに入力して[ユーザ登録実行]をクリックしてください。

5-6-3 サポートデータ作成

サポートデータ作成

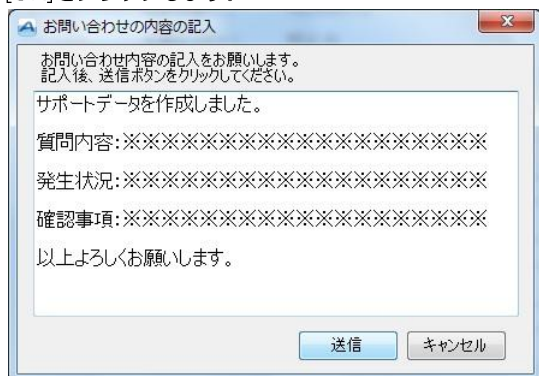
クリックすると、サポートデータを作成して zip ファイルで保存します。

- ※ 任意の名前を付けて保存してください
- ※ ライセンスキー入力後に使用できます。

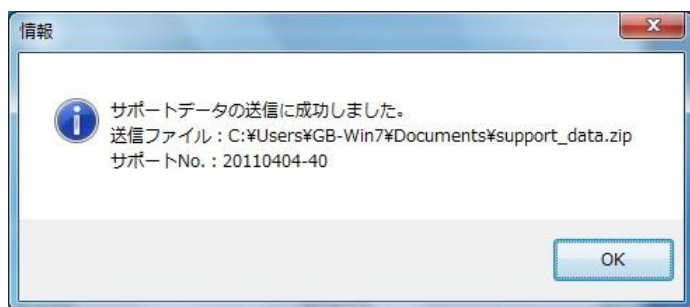




[OK]をクリックします。



お問い合わせ内容を記入して[送信]をクリックします。



[OK]をクリックします。

※ インターネットに接続されていない場合は 5-6-4 お問い合わせ を参照してください。

5-6-4 お問い合わせ

アール・アイホームページのサポートフォームに移行します。

https://www.ri-ir.co.jp/support/airback/support_form.php

ライセンスキー、サポートID、ご登録メールアドレスを入力してサポートフォームに進んでください。

お問い合わせ内容を記入し、[上記内容を送信する]をクリックします。

※ サポートデータがある場合は[参照]をクリックして添付してください。

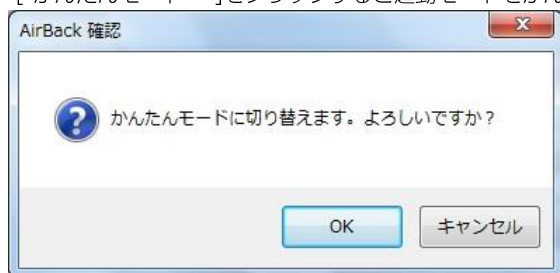
※ インターネットに接続されていない場合はインターネットに接続されている他のコンピュータからアール・アイのホームページをご覧いただきお問い合わせください。

5-6-5 マニュアル

マニュアルが表示されます。マニュアルはスタートメニューから表示することもできます。

5-7 かんたんモードへ

[かんたんモードへ]をクリックすると起動モードをかんたんモードに切り替え、メニュー画面に移動します。

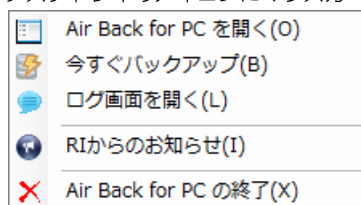


[OK]をクリックします。

6 Air Back アイコンと表示されるメッセージについて

6-1 コンテキストメニューを開く

タスクトレイのアイコンにマウスカーソルを移動します。アイコンの上で右クリックするとコンテキストメニューが開きます。



コンテキストメニューから以下の操作が可能です。

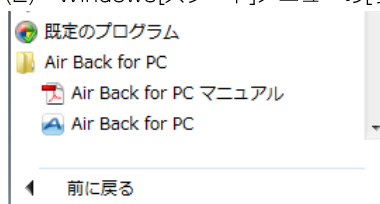
[Air Back for PC を開く]：ホーム画面を開きます。

※ ホーム画面を起動するには他に2つの方法があります。

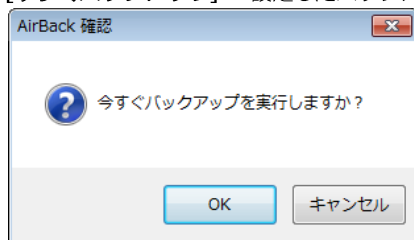
(1) デスクトップの Air Back アイコンをクリックします。



(2) Windows[スタート]メニューの[すべてのプログラム]にある Air Back アイコンをクリックします。



[今すぐバックアップ]：設定したバックアップ元を今すぐバックアップ開始します。



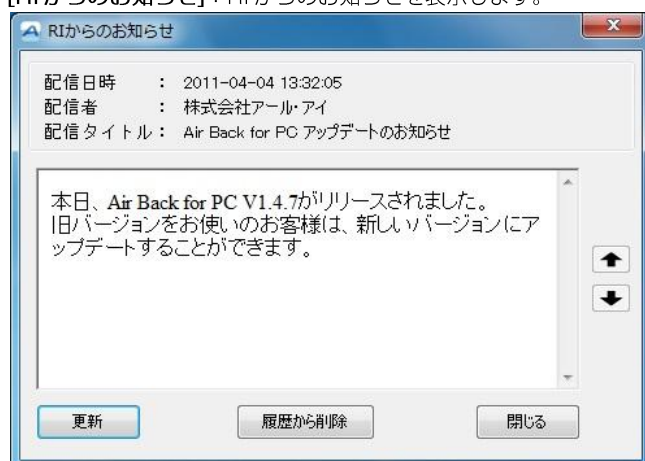
[OK]をクリックするとバックアップが開始されます。

[ログ画面を開く]：ログ画面を開きます



[詳細]をクリックして詳しいログを閲覧します。[閉じる]で戻ります。

[RIからのお知らせ]：RIからのお知らせを表示します。



[更新]で最新のお知らせを取得します。[履歴から削除]をクリックすると後で確認できなくなります。[閉じる]で戻ります。

[Air Back for PCの終了]：Air Backを終了します。



6-2 Air Back アイコンの表示と動作状況

タスクトレイの Air Back アイコン表示で動作状況を確認することができます。



ノーマルアイコン（白背景に青文字）：待機中/リストア中



リバースアイコン（青背景に黄色文字）：バックアップ中



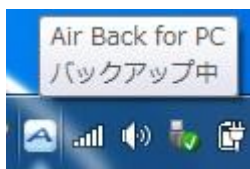
グレーアイコン（グレー背景に黒文字）：バックアップ先がすべて、接続不可の場合



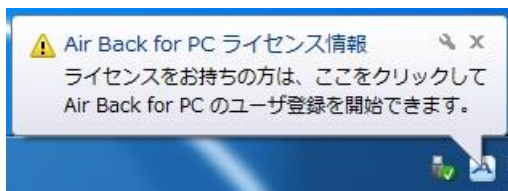
エラーアイコン1（白背景に赤文字）：エラー発生



エラーアイコン2（白背景にオレンジ文字）：エラーアイコン1の反転用、エラー発生中はエラーアイコン1とエラーアイコン2が交互表示されます。



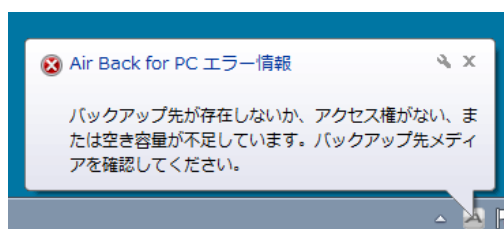
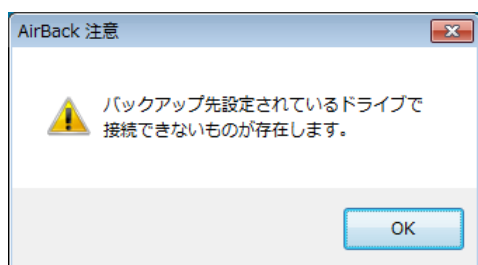
タスクトレイのアイコンの上にカーソルをのせると動作状態をバレーン表示します。



ライセンスキー未入力の場合に表示されます。クリックするとライセンスキー入力画面を開きます。

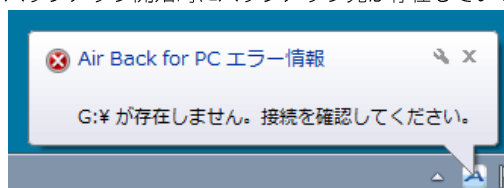
6-3 バックアップ先に接続できない時の表示

下記のメッセージとバルーンが表示されます。これらの表示は Air Back が起動されてから 1 回だけ表示されますので、バックアップタイミング毎に表示されるものではありません。



※ バックアップ先をネットワークドライブにしている場合で PC 起動時にこちらが表示される場合は、ネットワークドライブのショートカットアイコンを作成し Windows のスタートアップに登録してください。

バックアップ開始時にバックアップ先が存在していない場合は以下が表示されます。

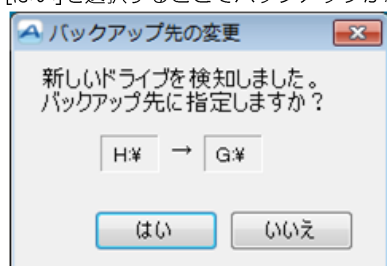


※ G ドライブがバックアップ先の場合の表示

6-4 バックアップ先メディアが変更された場合の表示

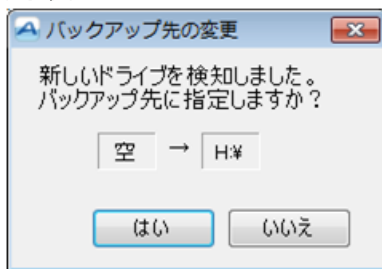
バックアップ先メディアのドライブレターが変更された場合に表示されます。

[はい]を選択するとここでバックアップが継続されます。



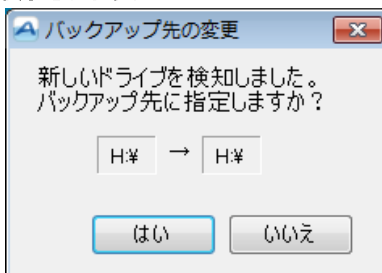
※ バックアップ先に指定していた場所が H ドライブで、そのデバイスのドライブレターが G ドライブに変更された場合の表示

バックアップ先に指定したデバイスが接続されていない状態で、新たに接続したデバイスがそのドライブレターで認識した場合に表示されます。



※ バックアップ先に指定していた場所がHドライブで、新たに接続したデバイスがHドライブで認識された場合の表示

バックアップ先に指定したデバイスが接続されていない状態で、1度バックアップ先に指定したことのある別のデバイスを認識した時に表示されます。



※ バックアップ先に指定していた場所がHドライブで、別のデバイスがHドライブで認識された場合の表示

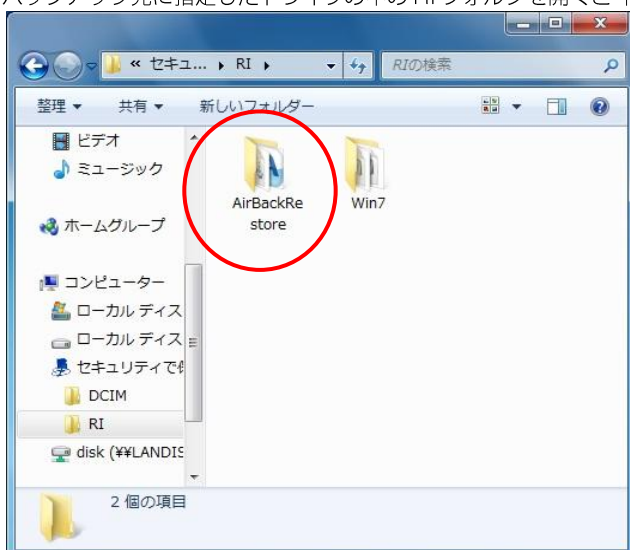
7 Air Back Restore について

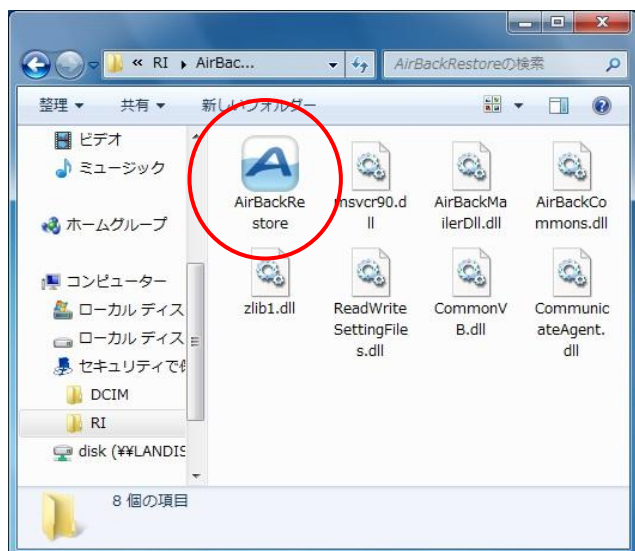
7-1 Air Back Restore の概要

Air Back Restore はバックアップデータを異なる PC にリストアするためのアプリケーションです。例えば、古い PC でバックアップしたデータを新しい PC にリストアする際に使用します。

7-2 Air Back Restore の起動方法

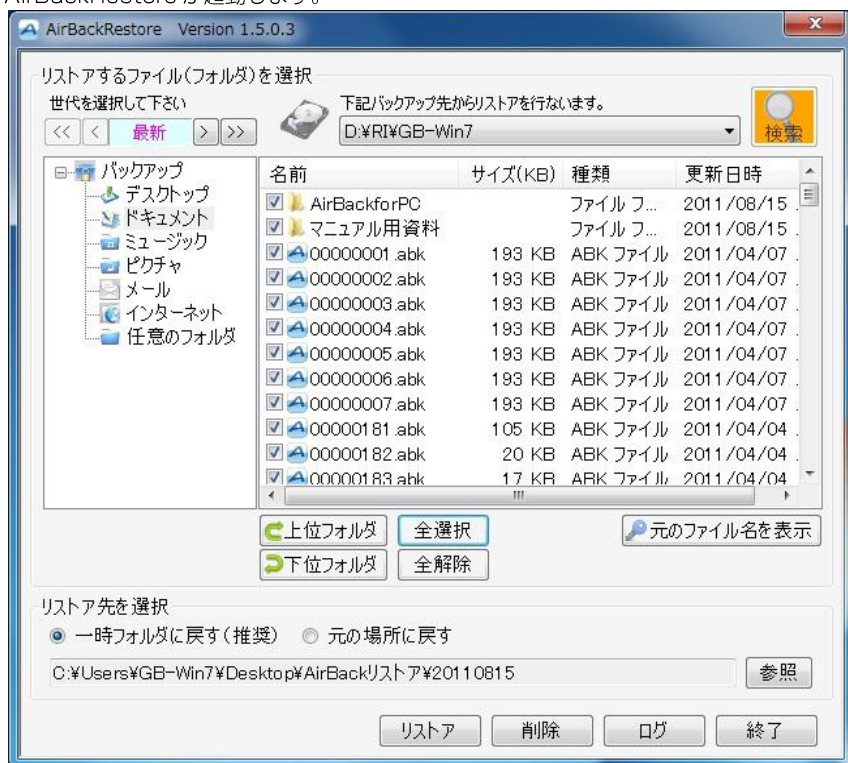
バックアップ先に指定したドライブの中の RI フォルダを開くと「AirBackRestore」フォルダがあります。





AirBackRestore.exe をダブルクリックします。

AirBackRestore が起動します。



リストアするファイルがあるバックアップ先を選択し、リストアするフォルダ/ファイル名の左側にあるチェックボックスにチェックを入れたら[参照]ボタンよりリストア先を選択してリストアを実行してください。

8 付録

8-1 インストーラをダウンロードする

インストーラとマニュアルはアール・アイのホームページより入手することが可能です。

http://www.ri-ir.co.jp/product/airback_pc/download.html



8-2 無料評価版試用期間終了のお知らせ

無料評価版をご試用の場合、インストール後 30 日間が経過するとご利用できなくなります。

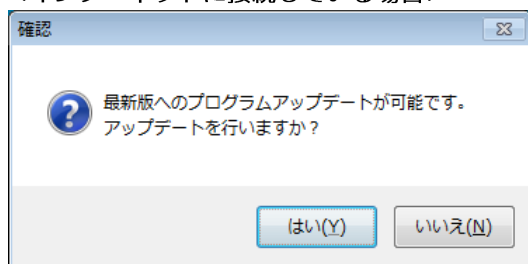
ご購入いただきライセンスキーを登録することで引き続きご利用が可能です。



8-3 アップデートについて

インターネットに接続している環境では、最新版がリリースされると Air Back 起動時にアップデート案内が表示されます。

<インターネットに接続している場合>

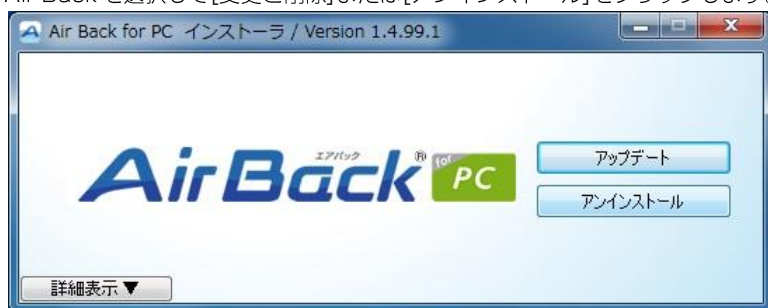


[はい]をクリックするとアップデートが開始されます。

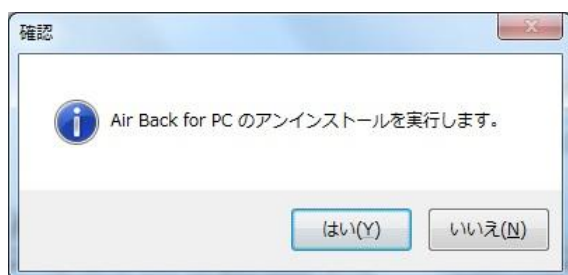
※ Windows Vista 以降では「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されますので[はい]または[続行]をクリックしてください。

8-4 アンインストールの方法

コントロールパネルから、[プログラムの追加と削除] または [プログラムのアンインストールまたは変更] を開き、Air Back を選択して[変更と削除]または[アンインストール]をクリックします。



インストーラが起動したら、[アンインストール]をクリックします。



[はい]をクリックします。



バックアップデータを削除する場合は[はい]をクリックします。

バックアップデータを削除しない場合は[いいえ]をクリックします。



設定ファイルを削除するかどうかを選択します。

[はい]をクリックすると、設定情報は削除されます。

[いいえ]をクリックすると、次回インストール時に現在の設定情報を引き継ぎますので初回設定ウィザードは起動されません。



[はい]をクリックします。アンインストールは完了です。

9 FAQ

1. バックアップデータはイメージ形式で保存されますか？

イメージ形式ではなくファイル単位で保存されます。

2. OS やアプリケーションをバックアップすることができますか？

当製品はファイル単位のバックアップですので、未対応です。

3. 圧縮する設定をした場合の圧縮率はどのくらいですか？

zip と同じ圧縮率です。

4. 初回バックアップはどのタイミングで始まりますか？

初回ウィザード完了時に[今すぐバックアップしますか？]ダイアログで[はい]を選択すると開始します。

[いいえ]を選択した場合は、リアルタイム設定では、バックアップ設定完了から 5 分後に既存データのバックアップを開始します。

非リアルタイム設定では、初めてのバックアップタイミングで開始されます。

5. 複数のバックアップ元をそれぞれ複数のバックアップ先に保存することは可能ですか？

はい、標準モードの「バックアップ」から設定可能です。

6. ネットワークドライブをバックアップ元にすることはできますか？

未対応でございます。なお、ネットワークドライブをバックアップ先にすることは可能です。

7. 差分バックアップは可能ですか？

はい、まだバックアップされていないファイルのみがバックアップされます。

8. 本製品に依存しないリストアは可能ですか？

バックアップを暗号なし・圧縮なし設定で行っていれば可能です。

9. バックアップされないフォルダやファイルがあります。

標準モード→オプション→共通設定画面の除外設定を確認してください。

10. リストアする際、フォルダ選択時にフォルダ内の各ファイルを確認することは可能ですか？

フォルダをダブルクリックするか、[下位フォルダ]ボタンを押すと下の階層に移動できます。

11. エラーが発生して Air Back が起動できません。

.NET Framework が破損している可能性がありますので、Windows Update を行うか .NET Framework を一旦全てアンインストールしてから Air Back のインストールをお試しください。

12. エラーが発生してバックアップが起動できません。

サポート画面より「サポートデータ作成」を行ってください。サポートデータ作成手順は、かんたんモードでは 4-4-3、標準モードでは 5-6-3 を参照してください。

13. 文字数制限によるバックアップエラーについて。

Windows ではファイル名の上限文字数が 255 文字、フルパスで 260 文字という文字数制限があります。

以下のエラーが記録される場合は、ファイル名を短くするかファイルを移動してパスを短くして下さい。

- ・バックアップ先ファイルパスが制限文字数（260 文字）を超えています
- ・あて先フォルダパスが制限文字数(248 文字)を超えています